

令和7年逗子市教育委員会10月定例会会議日程

令和7年10月22日 (水)

午後2時30分

逗子市役所5階第3会議室

日程第1 8月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第16号 教育委員会職員の人事について

日程第4 議案第11号 議案（逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について）作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

日程第5 議案第12号 逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について

日程第6 その他

- ・居場所づくりの進捗について
- ・部活動地域展開の進捗について

令和7年逗子市教育委員会10月定例会教育長報告事項

- 1 地区運動会について 山の根9月20日（土）、小坪・桜山9月28日（日）、池子10月11日（土）、逗子10月18日（土）、久木・新宿10月19日（日）
- 2 図書館来館者1000万人目セレモニー 9月28日（日）
- 3 （株）くるめし創業者寄附金による沼間中学校みそ作り体験 9月30日（火）
- 4 令和7年度神奈川県市町村教育長会連合会第2回幹事会及び総会 10月20日（月）
- 5 令和7年第3回逗子市議会定例会について 9月2日（火）～9月26日（金）

報告第16号

教育委員会職員の人事について

教育委員会職員の人事について緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則（昭和60年逗子市教育委員会規則第3号）第5条第1項第1号の規定に基づき、別紙のとおり教育長の専決により行ったので、同条第2項の規定に基づき報告する。

令和7年10月22日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

人事異動新旧対照表（教育）

主査以下 (2名)

(令和7年10月1日付)

職名	氏名	新	旧	備考
事務職員	清原 麻美	学校教育課	職員課	
事務職員	稻垣 賢也	子育て支援課	職員課	

議案第11号

議案(逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について)

作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第29条に基づき、
市長から議案(逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について)
作成に関して意見を求められたので、原案を了承する旨回答するもの。

令和7年10月22日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠



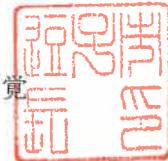
7 逗 総 発 第 35 号

2025年（令和7年）10月10日

逗子市教育委員会

教育長 大河内 誠 様

逗子市長 桐ヶ谷



教育委員会の意見聴取について（依頼）

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定に基づき、教育委員会の意見について聴取いたしたく、次のとおり依頼いたします。

意見聴取を依頼する案件

- 逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
… 別添のとおり

（事務担当：総務部総務課）

議案第 号

逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を次のように改正する。

令和 7 年 11 月 日 提出

逗子市長 桐ヶ谷 覚

逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例（昭和31年逗子市条例第7号）の一部を次のように改正する。

第2条中「月額 910,000円」を「月額 946,000円」に、「月額 755,000円」を「月額 785,000円」に、「月額 673,000円」を「月額 698,000円」に改める。

附 則

この条例は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

（提案理由）

逗子市特別職職員報酬等審議会からの、逗子市特別職職員の報酬等についての答申及び社会経済情勢等を踏まえ、市長、副市長及び教育長の給料の額について、改正の要あるため提案する。

逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例(昭和31年逗子市条例第7号)新旧対照表

現行	改正後（案）	備考
<p>(給料)</p> <p>第2条 市長等の給料は、次のとおりとする。</p> <p>市長 <u>月額 910,000円</u></p> <p>副市長 <u>月額 755,000円</u></p> <p>教育長 <u>月額 673,000円</u></p>	<p>(給料)</p> <p>第2条 市長等の給料は、次のとおりとする。</p> <p>市長 <u>月額 946,000円</u></p> <p>副市長 <u>月額 785,000円</u></p> <p>教育長 <u>月額 698,000円</u></p>	

議案第12号

逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書を作成したので、ご意見を承りたい。

令和7年10月22日提出

逗子市教育委員会
教育長 大河内 誠

令和7年度（令和6年度対象）

逗子市教育委員会 点検・評価に関する報告書

逗子市教育委員会

【 目 次 】

○はじめに		
1 趣旨	5
2 点検・評価の対象	5
3 点検及び評価の方法	5
4 評価者	5
○令和6年度の教育委員会の活動状況		
1 教育長及び教育委員	11
2 教育委員会開催状況	11
3 教育委員会審議案件	11
4 教育委員 主な活動状況	16
○点検・評価		
1 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち	23
社会教育課		
図書館		
2 文化を新たに創造するまち	35
文化スポーツ課		
3 スポーツを楽しむまち	43
文化スポーツ課		
4 学校教育の充実したまち	53
学校教育課		
療育教育総合センター		
教育総務課		
5 ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち	77
社会教育課		
6 誰もが心豊かに子育て・子育ちできるまち	83
子育て支援課		
保育課		
7 教育委員会への意見及び助言	113

○はじめに

1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されています。

本報告書は、この法律の規定に基づき、委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関する学識経験者の意見及び助言をいただき、点検及び評価を実施し、結果を報告するものです。

本市の特色ある教育施策を広く市民の皆さんにお知らせすることにより、教育現場における課題や取り組みの方向性を明らかにし、より一層効果的な教育行政の推進を図り、逗子のよりよい教育施策の実現に資するよう努めてまいります。

2 点検・評価の対象

教育委員会の権限に属する事務及び教育委員会が補助執行により行う事務について、逗子市総合計画中期実施計画(2023~2029)の各取り組みの方向における具体的施策ごとに設定した重要業績評価指標(KPI)等を点検及び評価の対象とします。

3 点検及び評価の方法

点検及び評価に当たっては、それぞれの目標に対する取り組み概要、自己評価、外部有識者の意見及び今後の取り組みの方向性を記載した評価シートを作成しました。

そして、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の意見、助言を記載しています。

4 評価者

次の方々から、ご意見及び助言をいただきました。

寶川 雅子氏 (鎌倉女子大学短期大学部教授)

佐久間 邦友氏 (日本大学文理学部准教授)

【参考】

○地方自治法（抜粋）

（教育委員会の職務権限等）

第一百八十条の八 教育委員会は、別に法律の定めるところにより、学校その他教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育委員会の職務権限）

第二一条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- 一 教育委員会の所管に属する第三十条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関する事務。
- 二 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関する事務。
- 三 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事務。
- 四 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事務。
- 五 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事務。
- 六 教科書その他の教材の取扱いに関する事務。
- 七 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する事務。
- 八 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関する事務。
- 九 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事務。
- 十 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関する事務。
- 十一 学校給食に関する事務。
- 十二 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関する事務。

- 十三 スポーツに関すること。
- 十四 文化財の保護に関すること。
- 十五 ユネスコ活動に関すること。
- 十六 教育に関する法人に関すること。
- 十七 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- 十八 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- 十九 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

○令和 6 年度の教育 委員会の活動状況

令和6年度の教育委員会の活動状況

1 教育長及び教育委員

() 内は任期

教 育 長	大河内 誠 (令和5.4.1～令和8.3.31)
委 員 (教育長職務代理者)	星山 麻木 (令和3.12.1～令和7.11.30) (教育長職務代理者 令和2.12.17～)
委 員	若林 順子 (令和5.6.26～令和9.6.25)
委 員	高橋 康 (令和5.12.3～令和9.12.2)
委 員	福田 幸男 (令和3.3.17～令和11.3.16)

※ 平成29年度からは、平成27年4月1日に施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に基づく教育長が任命されました。

2 教育委員会開催状況（令和6年度実績）

定例会 12回開催

臨時会 未開催

3 教育委員会審議案件

4月定例会（令和6年4月17日開催）

日程第1 2月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第6号 教育委員会職員の人事について

日程第4 報告第7号 教育委員会職員の懲戒処分について【非公開】

日程第5 報告第8号 県費負担教職員の任免の内申について

日程第6 報告第9号 令和6年度逗子市奨学金受給者の給付決定について【非公開】

日程第7 報告第10号 逗子市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について【非公開】

日程第8 報告第11号逗子市いじめ問題調査委員会に対する諮問について【非公開】

日程第9 議案第12号 令和7年度使用逗子市立小・中学校教科用図書の採択方針について
日程第10 議案第13号 令和6年度工事計画の策定について
日程第11 その他
5月定例会 (令和6年5月29日開催)
日程第1 3月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 報告第12号 教育委員会職員の人事について
日程第4 報告第13号 逗子市社会教育委員の辞任及び委嘱について
日程第5 議案第14号 逗子市立図書館協議会委員の辞任及び任命について
日程第6 議案第15号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施方針について
日程第7 その他
6月定例会 (令和6年6月26日開催)
日程第1 4月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 報告第14号 議案 (令和6年度逗子市一般会計補正予算(第2号)) 作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について
日程第4 その他
7月定例会 (令和6年7月10日開催)
日程第1 5月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 報告第15号 教育委員会職員の人事について

日程第4 議案第16号 逗子市文化財保護委員会に対する諮問について
日程第5 その他
8月定例会 (令和6年8月7日開催)
日程第1 6月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 議案第17号 令和7年度使用小・中学校教科用図書の採択について
日程第4 その他
9月定例会 (令和6年9月25日開催)
日程第1 7月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 報告第16号 議案 (令和6年度逗子市一般会計補正予算(第3号)) 作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について
日程第4 その他
・図書館の特別整理期間について
・青少年問題協議会について
10月定例会 (令和6年10月23日開催)
日程第1 8月定例会会議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
日程第3 報告第17号 教育委員会職員の人事について
日程第4 報告第18号 逗子市文化財保護委員会の答申について
日程第5 議案第18号 逗子市指定重要文化財の指定について
日程第6 議案第19号 逗子市教育委員会点検・評価に関する報告書について
日程第7 その他

11月定例会（令和6年11月20日開催）

日程第1 9月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第19号 教育委員会職員の人事について

日程第4 その他

- ・ビブリオバトルの開催について

12月定例会（令和6年12月18日開催）

日程第1 10月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第20号 議案（令和6年度逗子市一般会計補正予算（第5号））

作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

日程第4 その他

- ・逗子市立体育館管理等要領の一部改正について
- ・第72回逗子市内一周駅伝競走大会について
- ・令和6年度二十歳を祝ううしの集いについて

1月定例会（令和7年1月15日開催）

日程第1 11月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 議案第1号 逗子市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について

日程第4 その他

- ・令和6年度二十歳を祝ううしの集いについて
- ・第72回逗子市内一周駅伝競走大会の結果について

・子ども・子育て支援事業計画の改定に伴うパブリックコメントの開始について

・令和6年度神奈川県児童・生徒の問題行動等調査結果について

・令和6年度全国学力・学習 状況 調査結果について

2月定例会 (令和7年2月5日開催)

日程第1 12月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第1号 逗子市いじめ問題調査委員会の答申について【非公開】

日程第4 議案第2号 議案（逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について 作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

日程第5 その他

・逗子市児童青少年等の居場所づくりに関する庁内連携会議規程の制定について

3月定例会 (令和7年3月21日開催)

日程第1 1月定例会会議録の承認について

日程第2 教育長報告事項について

日程第3 報告第2号 議案（令和6年度逗子市一般会計補正予算（第7号））作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

日程第4 報告第3号 議案（令和7年度逗子市一般会計予算）作成に関する逗子市教育委員会の意見聴取に対する回答について

日程第5 報告第4号 県費負担教職員の任免内申について【非公開】

日程第6 議案第3号 逗子市人権施策推進指針の策定について

日程第7 議案第4号 逗子市教育委員会事務分掌規則の一部改正について

日程第8 議案第5号 事務の委任及び補助執行について

日程第9 議案第6号 逗子市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について

日程第10 その他

- ・逗子市こども計画の策定について
- ・神奈川県駅伝の結果について
- ・令和6年度逗子市スポーツ功労者表彰について

4 教育委員 主な活動状況

	教育委員会会議	その他の主な活動
4月	定例会 (4/17)	<ul style="list-style-type: none">・勉強会 (4/17 年間日程・内容確認について)・史跡長柄桜山古墳群第1号墳オープニングセレモニー (4/20)
5月	定例会 (5/29)	<ul style="list-style-type: none">・勉強会 (5/29 いじめ・不登校の現状と解決に向けた取組について)・中学校体育祭 (5/18 逗子中学校) (5/23 沼間中学校)・小学校運動会 (5/25 久木小学校)

		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動会 (6/1 逗子・沼間・池子小学校) ・勉強会 (6/26 子育て支援・不登校支援について) ・視察 (6/26 療育教育総合センター) ・学校訪問 (6/11 逗子小学校) (6/21 沼間小学校) (6/25 久木小学校) (6/26 沼間中学校)
6月	定例会 (6/26)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 (7/1 小坪小学校、久木中学校) (7/5 池子小学校、逗子中学校) ・勉強会 (7/10 校長会内容の情報提供、教科書採択に向けて打合せ (採択委員会報告))
7月	定例会 (7/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書採択会議準備 ・勉強会 (8/7 教科書採択会議まとめ)
8月	定例会 (8/7)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 (9/25 学校改革・小中一貫教育の可能性と課題について)
9月	定例会 (9/25)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育祭 (10/3 久木中学校) ・小学校運動会 (10/26 小坪小学校) ・勉強会 (総合教育会議事前打ち合わせ) ・第1回総合教育会議 (10/23 令和7年度予算編成について)
10月	第1回総合教育会議 (10/23)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 (11/20 子どもたちの学びの連続性を意識した幼・保・小の連携の在り方について) ・神奈川県市町村教育委員会連合会研修会 (11/8)
11月	定例会 (11/20)	

12月	定例会 (12/18)	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会 (12/18 不登校対策プロジェクトチーム立ち上げに向けて)
1月	定例会 (1/15)	<ul style="list-style-type: none"> 二十歳を祝うすしの集い (1/13) 勉強会 (1/15 少子化を踏まえた今後の学校施設の在り方について) 学校訪問 (1/16 逗子小学校) (1/20 小坪小学校、久木小学校) (1/22 沼間小学校、沼間中学校) (1/27 池子小学校、逗子中学校) (1/28 久木中学校)
2月	定例会 (2/5) 第2回総合教育会議 (2/5)	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会 (2/5 児童・生徒指導関連の情報提供) 第2回総合教育会議 (2/5 逗子市いじめ問題調査委員会の答申について【非公開】、いじめ根絶に向けた取組について)
3月	定例会 (3/21)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒表彰 (3/1) 逗子市スポーツ功労者表彰 (3/1) 中学校卒業式 (3/12) 小学校卒業式 (3/19) 勉強会 (3/21 今年度の振り返り・次年度へ向けた取組確認について)

○ 点検・評価

取り組みの方向		具体的施策	重要業績評価指標（KPI）令和11年度	担当課
1	子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち	1 学習機会の提供による社会教育の推進	講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。	社会教育課
2	文化を新たに創造するまち	1 文化芸術活動の推進（継承と創出）	逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。	文化スポーツ課
3	スポーツを楽しむまち	1 スポーツの推進	成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上になっている。	文化スポーツ課
4	学校教育の充実したまち	1 教員の指導力及び教育課題への対応力向上	児童・生徒を対象にしている「学校生活アンケート」に「授業がよくわかる」「学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が80%以上になっている。	学校教育課（療育教育総合センター）
		2 子どもの発達段階に応じた継続的な支援	療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。	療育教育総合センター
		3 ICTを活用した授業と情報教育の推進	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち「授業にICTを活用して指導する能力」「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が80%以上になっている。	学校教育課（療育教育総合センター）
		4 地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進	地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。	学校教育課（療育教育総合センター）
5	ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち	1 文化財保護の推進	市指定文化財の数が24件に増加している。	社会教育課
6	誰もが心豊かに子育て・子育ちできるまち	1 妊娠前からの子育ての相談・支援の充実	保健師及び助産師が、乳児がいるすべての家庭を訪問し、相談に応じている。	子育て支援課
		2 子育てを支える取り組みの推進	ファミリー・サポート・センターに登録している支援会員（両方会員を含む）の登録人数が550人になっている。	子育て支援課
		3 幅広い保育ニーズに対応できる体制づくり	保育所等入所待機児童が0人になっている。	保育課
		4 子どもたちの居場所づくりの推進	体験学習施設「スマイル」の主催講座の延べ参加者数が2,000人/年になっている。	子育て支援課

1 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち

(基本構想の取り組みの方向)

市民の誰もが、人生のどの場面でも、いきいきと学びを楽しめるよう、現代的課題や地域課題について、共に学び、個を高め合う社会教育の機会を広く市民に提供とともに、市民の自主的な学びを支援します。

そして、学ぶ楽しみ教える喜びで地域の一人ひとりがいきいきと輝いているまち、学んだ成果を生かすことで元気な地域づくりへとつなげていくまち、生涯学習のまち逗子をめざします。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 1-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：社会教育課】

具体的施策								
学習機会の提供による社会教育の推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
講座事業において、各分野（現代的課題、地域課題、家庭教育）3講座以上実施され、受講生の満足度が5段階評価のうち4以上が90%を超えている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上	各分野3講座以上実施。 満足度90%以上
実績		各分野3講座以上実施。 満足度90.5%	各分野3講座以上実施。 満足度90.06%	各分野3講座以上実施。 満足度81.23%				
具体的施策を構成する主な取り組み								
① 各種講座事業の推進 ②家庭教育推進事業の充実 ② 読書活動の推進 ③ 子どもの読書活動の推進								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>目標は達成できなかったが、満足度80%以上となる参加者は8割を超えており、取り組みは概ね順調と捉えている。</p> <p>現代的課題に即した企画に際しては、時宜を得たテーマを考慮したほか、地域課題については市制70周年記念を踏まえ、地域に親しむ講座（歴史・文学）の充実を図った。</p> <p>評価が比較的低かった講座については、豊富な内容に比して時間が不足したり、講師の話し方や配布資料に工夫を求める意見があったため、今後は講師との事前調整を密に行い、受講環境の向上を図る。</p>
-----------------------	---

評価シート 1-1

外部有識者の意見	<p>講座では学んだことや感じたことを、誰かと意見交換をして共有する時間を意図的に組み込むと、より有意義になり、講座終了後には、受講者による「何らかの活動に結びついたかどうか」を測る指標などがあると良い。</p> <p>講座を受けて関心を持った受講者が、その関連する分野の団体に関わっていく等のルートやツールを作ると、受講者の次なるアクションに繋がり、両方が活性化して良い。</p> <p>講座をオンラインにすれば参加し易いという、短絡的な発想にならないように、対面開催で保育環境の整備を積極的に検討されたい。子育て中の保護者の孤独感に、大きな課題があるので、対面開催の場で、親同士の繋がりを作る効果という観点も必要である。</p> <p>他部署との連携企画を実施していくことは有効である。引き続き、継続的に取り組まれたい。</p>
今後の取り組みの方向性	<p>講師との事前調整を密に行い、受講環境の向上を図る。アンケート等によって市民ニーズを的確に把握するとともに、オンラインやハイブリッド等の多様な方法を適宜採用し、より多くの市民が参加できる環境を整備する。</p> <p>毎年継続して受講生の満足度が高い状態を維持することが重要であり、今後も市民のニーズを把握し適切な企画検討に努める。</p>

評価シート 1-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	各種講座事業の推進																									
担当課	社会教育課																									
関係する事業名	【A】各種講座事業 【B】社会教育出張講座事業																									
実施内容	<p>目的：【A】市の施策に係る重点課題をはじめ、様々な学習機会の提供を通じ、知識の習得をしていくとともに、地域貢献に資する人材育成を目指す。</p> <p>【B】地域住民の学習要求に応え、学習機会を提供し、地域活動や市民の学習活動のきっかけづくりを行う。</p> <p>手段：【A】現代的課題、地域課題に関する講座を実施する。</p> <p>【B】コミュニティセンター（小坪・沼間）を会場として、健康・衛生、趣味・教養等に関する講座を実施する。</p> <p>実績：【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的課題に関する講座 関係機関と連携し、市の政策に係る重点課題や現代的課題に関する講座を実施した。 <p>① 経済の仕組みと資産運用 ② 半身麻痺でも伝えられることがある（前編） ③ 半身麻痺でも伝えられることがある（後編） ④ 海洋プラスごみ問題を考えよう</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>出席者数</th> <th>アンケート回収率</th> <th>点数記載率</th> <th>平均点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>16名</td> <td>87.5%</td> <td>57.1%</td> <td>78.0点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>52名</td> <td>67.3%</td> <td>65.7%</td> <td>97.0点</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>26名</td> <td>76.9%</td> <td>80.0%</td> <td>95.0点</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>22名</td> <td>95.5%</td> <td>76.2%</td> <td>96.0点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子料理教室 出席者数 30人 ・サードエイジ連続講座（第10期） 逗子の魅力を楽しく学び、友人・仲間を見つけ学んだ知識を地域社会へ活かすことを目的として、NPO法人逗子まちなかアカデミーとの協働により実施した。 <p>第1回：102歳を語り継ぎま専科「関東大震災を経験し</p>		出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点	①	16名	87.5%	57.1%	78.0点	②	52名	67.3%	65.7%	97.0点	③	26名	76.9%	80.0%	95.0点	④	22名	95.5%	76.2%	96.0点
	出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点																						
①	16名	87.5%	57.1%	78.0点																						
②	52名	67.3%	65.7%	97.0点																						
③	26名	76.9%	80.0%	95.0点																						
④	22名	95.5%	76.2%	96.0点																						

評価シート 1-1

	<p>た平和を望む102歳の人生を語る」</p> <p>第2回：京急逗子線を深掘りしま専科 「京急逗子線の歴史を振り返るとともに、これからの地域とつくるエリアマネジメントについて語る」</p> <p>第3回：介護の実態をより深めま専科「介護現場の実態と高齢者の健康管理などについて、特別養護老人ホームの代表者が語る」</p> <p>第4回：逗子のお寺をもっと紐解きま専科「逗子には古い歴史の寺が数多くあり、古刹として名高い神武寺のご住職が歴史について語る」</p>																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>出席者数</th><th>アンケート回収率</th><th>点数記載率</th><th>平均点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td><td colspan="5">講師の都合により中止</td></tr> <tr> <td>第2回</td><td>35名</td><td>77.1%</td><td>59.3%</td><td>84.3点</td><td></td></tr> <tr> <td>第3回</td><td>21名</td><td>85.7%</td><td>50.0%</td><td>87.2点</td><td></td></tr> <tr> <td>第4回</td><td>29名</td><td>89.7%</td><td>61.5%</td><td>80.6点</td><td></td></tr> </tbody> </table>						出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点	第1回	講師の都合により中止					第2回	35名	77.1%	59.3%	84.3点		第3回	21名	85.7%	50.0%	87.2点		第4回	29名	89.7%	61.5%	80.6点	
	出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点																														
第1回	講師の都合により中止																																	
第2回	35名	77.1%	59.3%	84.3点																														
第3回	21名	85.7%	50.0%	87.2点																														
第4回	29名	89.7%	61.5%	80.6点																														
	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子の歴史、文化財、地域資源に関する講座 <p>地域に対する知識と理解を深めることで地域づくりに繋がる人づくりに向けた動機づけとすべく、郷土の自然と歴史、文化遺産を学習する機会を提供し、市民の自主的な学習活動や地域活動のきっかけづくりとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 德川宗敬・幹子夫妻が住んだ桜山と大正期の逗子 ② 德富蘆花・『自然と人生』と『不如帰』（市制70周年記念講座） ③ 古代中世の逗子・歴史の辻子（市制70周年記念講座） ④ 新指定市文化財 釈迦の入滅を描く延命寺涅槃図をめぐって（市制70周年記念講座） ⑤ 古記録に見る逗子の近世（市制70周年記念講座） ⑥ 放置竹林のリスクをまちの魅力に変える 																																	

評価シート 1-1

	出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点
①	22名	95.5%	76.2%	77.2点
②	22名	100%	59.1%	80.0点
③	33名	90.9%	66.7%	90.0点
④	19名	94.7%	55.6%	91.0点
⑤	32名	90.6%	58.6%	82.0点
⑥	16名	81.3%	61.5%	88.0点

【B】

・社会教育出張講座

地域の人々が気軽に集い地域に親しむきっかけづくりとなるような講座を、前年度と同程度開催した。引き続き、市民のニーズを踏まえて適切な講座の開催に努める。

- ① 「フラダンス体験教室」 出席者数 42人（3回沼間）
- ② 「大人の簡単えんぴつ画教室」 出席者数 19人（2回沼間）
- ③ 「現代詩入門」 出席者数 12人（2回小坪）
- ④ 「ピラティス体験教室」 出席者数 29人（2回 小坪）
- ⑤ 「ボディコンディショニング体験教室」 出席者数 25人（2回沼間）
- ⑥ 「パワースタイルヨガ体験教室」 出席者数 19人（1回小坪）
- ⑦ 「初心者向けスマホで講座」 出席者数 7人（1回小坪）
- ⑧ 「ウクレレ教室 初級編」 出席者数 56人（3回沼間）
- ⑨ 「遺言・相続・成年後見の基礎講座」出席者数 17人（1回小坪）
- ⑩ 「バレエエクササイズ体験教室」 出席者数 13人（1回沼間）

取り組み②	家庭教育推進事業の充実
担当課	社会教育課
関係する事業名	家庭教育推進事業

評価シート 1-1

実施内容	目的：家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭の教育力の向上を図る。 手段：関係所管と連携しながら、家庭や地域の教育力向上に資する講座を開催するほか、子どもの居場所づくりに係る具体的取り組みを検討する。 実績： 次の3講座を開催。 ① スマホとの向き合い方 ② もしもの時のやさしいつながりを作ろう ③ こどもホスピスをご存じですか 子育て中の保護者が講座に参加しやすい環境づくりの一環として、オンライン・録画配信を活用した。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>出席者数</th><th>アンケート回収率</th><th>点数記載率</th><th>平均点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>※29名</td><td>27.6%</td><td>87.5%</td><td>81.0点</td></tr> <tr> <td>②</td><td>17名</td><td>94.0%</td><td>62.5%</td><td>90.0点</td></tr> <tr> <td>③</td><td>19名</td><td>89.0%</td><td>76.5%</td><td>94.0点</td></tr> </tbody> </table> <p>※オンライン当日視聴5人、録画視聴24人</p>		出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点	①	※29名	27.6%	87.5%	81.0点	②	17名	94.0%	62.5%	90.0点	③	19名	89.0%	76.5%
	出席者数	アンケート回収率	点数記載率	平均点																
①	※29名	27.6%	87.5%	81.0点																
②	17名	94.0%	62.5%	90.0点																
③	19名	89.0%	76.5%	94.0点																

取り組み③	読書活動の推進
担当課	図書館
関係する事業名	図書館活動事業
実施内容	目的：読書普及のための図書館活動を積極的に展開し、利用者が読書に親しむ機会の提供とレンタルサービス（調べもの相談）の充実など図書館利用の促進を図る。 手段：展示やイベントを継続的に行い、それについてSNS等を通じ積極的に情報発信する。 実績： 来館者数 R6 357,736人 R5 357,117人 登録者数 R6 39,784人 (新規2,596人) R5 40,146人 (新規2,660人) 貸出状況

評価シート 1-1

●貸出者数

	R6年度	R5年度	比較
図書館	159,084	163,018	△3,934
小坪分室	15,507	16,235	△728
沼間分室	10,151	11,521	△1,370
合計	184,742	190,774	△6,032

●貸出点数

	R6年度	R5年度	比較
図書館	340,516	357,563	△17,047
小坪分室	30,775	33,833	△3,058
沼間分室	21,462	22,213	△751
合計	392,753	413,609	△20,856

展示

図書館 89回 小坪分室 24回 沼間分室 22回
合 計 135回 (昨年度 129回)

イベント

●高齢者サービス講座

- ・「自分らしく生きるための終活セミナー もっと知りたい相続と成年後見」 参加者 11名
- ・「折り紙で作るお正月セット」 参加者 9名

●「ビブリオバトル」

発表者(バトラー)によるお薦め本の紹介。

参加者 : R6 発表者(バトラー)9名 観覧者 35名

R5 発表者(バトラー)11名 観覧者 24名

※観覧者は全員の発表の観覧が必要

※R6 年度のビブリオバトルは市制 70 周年記念事業として、文化プラザさざなみホールで実施。

【所管意見】

貸出関連の数値は減少しているが、前年度と比べ来館者数は増加しており、図書館利用は安定している。

展示が昨年度と比較し増加したが、主な要因としては児童書関連作者の追悼展示が増加したためであり、残念なこと

評価シート 1-1

	<p>であった。</p> <p>逗子にゆかりのある文化人と作品の展示を、市制70周年記念事業市民団体企画との共同開催や、文化勲章及び市民栄誉賞受章の高橋睦郎氏に関する臨時展示など、その時々の旬を反映させながら様々な分野の展示を実施し、来館につながるよう工夫している。</p>
--	---

取り組み④	子どもの読書活動の推進																							
担当課	図書館																							
関係する事業名	図書館活動事業																							
実施内容	<p>目的：子どもが本に出会うための環境づくりや、子どもが読書に親しむための機会の提供を行うことにより、子どもの読書活動の推進を図る。</p> <p>手段：展示、おはなし会、イベントを継続的に行い、それについてSNS等を通じ積極的に情報発信する。</p> <p>実績：</p> <p>児童展示</p> <p>図書館 31回 小坪分室 12回 沼間分室 10回 合計 53回 (昨年度43回)</p> <p>*取り組み③の展示実績から児童部分のみ抜粋。</p> <p>おはなし会</p> <p>① 開催回数 (前年度59回)</p> <p>図書館 48回 沼間分室 2回 合計 50回</p> <p>② 参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R5年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">図書館</td> <td>子ども</td> <td>541</td> <td>466</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>大人</td> <td>274</td> <td>343</td> <td>△69</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">沼間分室</td> <td>子ども</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大人</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>△2</td> </tr> </tbody> </table> <p>*小坪分室はおはなし会未実施</p> <p>イベント</p>			R6年度	R5年度	比較	図書館	子ども	541	466	75	大人	274	343	△69	沼間分室	子ども	10	12	1	大人	8	12	△2
		R6年度	R5年度	比較																				
図書館	子ども	541	466	75																				
	大人	274	343	△69																				
沼間分室	子ども	10	12	1																				
	大人	8	12	△2																				

評価シート 1-1

	<p>図書館探検クイズラリー（7月20日～9月1日実施） *図書館の本を使ってクイズに答えるイベント。</p> <p>関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none">●子育て支援センターでおはなし会を実施 4回実施 延べ参加者数 子ども25人 大人28人●中学校訪問読み聞かせ（実施）逗子中学校1年生●施設見学（実施）逗子小学校2年生、3年生、5年生●職場体験（実施）逗子中学校2年生●インターンシップ（実施）追浜高等学校2年 <p>【所管意見】 おはなし会の子どもの参加者数が、昨年度と比較して増加したのは、おはなし会開始前に、館内にいる対象年齢の子どもや大人に参加を促し、学童保育にも参加の声掛けを行うなどの行動が良い効果をもたらした結果と考える。今後も参加数を増やしていくため、開催日時などを検討しながら、利用者のニーズにあわせた運営を行っていく。</p>
--	--

評価シート 1-1

2 文化を新たに創造するまち

(基本構想の取り組みの方向)

文化芸術は、生活に潤いや刺激を与え、共感や連帯を生み、人の心を豊かにします。さらに、新たな付加価値を生み出すなど、地域社会にとっても多様な可能性を秘めています。

わたしたちは、逗子の伝統文化を継承するとともに、潜在的な文化資源を掘り起こして、地域の文化を市民の手で拓き、互いを高め合い、育むことで、「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤をつくります。そして、逗子の多彩な文化資源と恵まれた自然環境を背景に生まれる、個性的で創造的な文化芸術の力で、文化と自然がつむぐ活力あるまち（地域社会）の発展をめざします。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 2-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：文化スポーツ課】

具体的施策								
文化芸術活動の推進（継承と創出）								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
逗子アートフェスティバルの参加企画数が30企画になっている。								
目標	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		26	23	24	28	25	26	30
実績	23	41	25					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①逗子アートフェスティバルの充実 ②文化芸術活動の振興に係る事業の推進 ③子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）								

自己評価 (工夫している点、課題等)	① 逗子アートフェスティバルの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の学生と連携した制作・展示や、空き家や旧逗子高等学校の校舎の一部を活用するなどしたほか、アートを通じて逗子の地域ごと魅力を感じられるよう、地域ごとにゾーンニングしたパンフレットを作成した。
	② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「逗子市文化祭」は、市民に定着しているイベントであり、参加企画数は前年比で増加した。 ・高齢化による会員数減少が課題で、参加団体を若い世代に拡げる等の活性化を図ることが求められる。
	③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等） <ul style="list-style-type: none"> ・アート便のメニュー数が3メニュー（和太鼓、世界の音楽、落語）から4メニュー（和太鼓、太鼓、落語、クラシック）に増え、幅広い選択肢を提供することができた。 ・新鮮な新企画を増やし、子どもの文化芸術に触れる機会を増やしたい。
	※KPIについて 参加企画数実績が 2023 年度で大きく増加しているのは、3年に一度開催のトリエンナーレに当たる年のため、市の負担金及び文化庁補助金を活用することで例年より

評価シート 2-1

	規模を拡大したことによるもの。
外部有識者の意見	<p>①逗子アートフェスティバルの充実について</p> <p>令和6年度は市制70周年記念事業ということもあり、地域にゆかりのあるアーティストを企画の中心としたほか、逗子葉山高等学校をはじめ地域の学生との連携によって、企画展や作品制作が出来たことは逗子の魅力を多面的に表すことができたと思われる。</p> <p>企画運営を担った逗子アートネットワークに集まった市民のオンラインも含めた交流も広がりを見出している。</p> <p>逗子アートフェスティバルが市内外から逗子の文化活動を支援するネットワークの核となり、当市のシティプロモーションを高める事業になりつつある。</p> <p>②文化芸術活動の振興に係る事業の推進について</p> <p>72回を迎えた逗子市文化祭は、市民文化活動の成果発表の機会として定着しており、参加企画数が増加したことを評価したい。広報(SNS)などの展開で若い世代の積極的な参加を更に進めたい。</p> <p>③子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進について</p> <p>アウトリーチ(アート便)や手作り絵本教室、ホールスタッフ体験など多様な企画がなされており、次世代を担う子どもたちの創造力向上や文化創造体験の拡充が継続的に図られていることが評価される。特に市民交流センターとの共催による、共に学び共に育つ「共育のまち」の実現に向けた取り組みは、事業実施における連携の観点からも有意義であり、今後の展開が期待される。</p> <p>アート便に関しては、メニューは増えたが、もう少しバラエティを増やしたり、また障がいのある子どもたちへのアプローチも検討されたい。</p>

評価シート 2-1

今後の取り組みの方向性	<p>① 逗子アートフェスティバルの充実 ・世代層の拡がり、企画者・参加者数の増大を図り、より一層充実した事業への発展を目指す。</p> <p>② 文化芸術活動の振興に係る事業の推進 ・逗子市文化祭参加団体の若い世代の拡充と会員数増加により、「逗子市文化祭」の更なる活性化を図る。</p> <p>③ 子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等） ・新たな企画を増やすなどし、より一層子どもの文化創造体験の拡充を図る。</p>
-------------	---

評価シート 2-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	逗子アートフェスティバルの充実
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	逗子アートフェスティバル (ZAF) 2024
実施内容	<p>目的：芸術文化活動による地域の活性化を図る。</p> <p>手段：アートをハブにしたまちづくりを通して自立した地域コミュニティの形成と、アートによるシティプロモーションをきっかけとした移住促進を目指す。</p> <p>市民と市の協働により、市内外の有志による組織(逗子アートネットワーク)が企画・運営を担う。</p> <p>実績：ZAF2024 は、市制 70 周年記念事業として広報費、警備業務委託料等に市の予算（843 千円）を充て、地域にゆかりのあるアーティストの企画を中心を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加企画数…25 企画（前年：41 企画） 来場者数 …約 7,100 名（前年：約 15,400 名）

取り組み②	文化芸術活動の振興に係る事業の推進
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	<p>逗子市文化祭</p> <p>逗子アートフェスティバル 2024（取り組み①に記載）</p> <p>逗子文化プラザホール自主文化事業（取り組み③に記載）</p>
実施内容	<p>目的：市内文化団体の活動を継続支援することにより、文化芸術活動の振興を図る。</p> <p>手段：市民文化活動の成果発表や市民の鑑賞の場として定着している逗子市文化祭を通じ、文化活動の裾野拡大に努める。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加企画数…14 企画（前年：12 企画） 来場者数 …約 3,800 名（前年約 3,200 名）

評価シート 2-1

取り組み③	子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	逗子文化プラザホール自主文化事業
実施内容	<p>目的：次代の地域文化の担い手である子どもに対し、文化芸術に触れる機会や文化創造体験の増大を図る。</p> <p>手段：学校教育との連携や逗子地域の多世代との交流を通じた地域文化体験の他、ホール自主文化事業で創造体験型事業を実施する。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アート便【学校教育との連携によるアウトリーチ活動】 …授業数 13 件、参加者 1,472 名 (前年：13 件、1,630 名) ・手作り絵本講座…開催日数 4 日、参加者 70 名 (前年：4 日、70 名) ・逗子子ども落語教室…開催回数 1 回、参加者 17 名 ・プロ和太鼓グループ公演【逗子開成高校和太鼓部と共に】 …事前指導回数 6 回、来場者 401 名 (前年：7 回、463 名) ・ホール担当者によるコンサートの作り方講座 【県立逗子葉山高校生対象】 …ワークショップ日数 2 日、参加者 24 名 (前年：2 日、19 名) ・トモイクフェスティバル【交流センターとの共催】 …開催日数 2 日、参加者 4,006 名 (前年：2 日、3,500 名) ・0才からのコンサート【竹楽器】 …開催回数 1 回、入場者 165 名 (前日開催ワークショップ 参加 26 名) (前年：1 回、327 名【パーカッション】) ・ファミリーミュージカル【0才から入場可】 …開催回数 1 回、入場者 449 名

評価シート 2-1

3 スポーツを楽しむまち

(基本構想の取り組みの方向)

わたしたちは、スポーツ都市宣言の理念に基づき、市民一人ひとりがスポーツに親しみ健康な心とからだをつくる「健康づくり」、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり明るい生活を営むことができる「場づくり」、スポーツを通じていきいきとした地域連携の輪をひろげる「交流づくり」、スポーツを通じて活力に満ちたまちづくりを推進する「基盤づくり」を進めます。

一人でも多くの市民が、スポーツに親しみ、互いに高め合うことで、健康で豊かな生活を送ることができるよう、いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ、健康づくりができるまちをめざします。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 3-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：文化スポーツ課】

具体的施策								
スポーツの推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%以上になっている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		58%	60%	62%	64%	66%	68%	70%
実績	54.8%	56%	56.7%					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①スポーツ活動に係る事業の推進 ②総合型地域スポーツクラブの普及・啓発 ③逗子市スポーツの祭典の開催 ④マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング ⑤子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進								

自己評価 (工夫している点、課題等)	①スポーツ活動に係る事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 指導者養成教室、ジュニアスポーツ教室、地域体育祭、市内一周駅伝競走大会など様々な機会をとらえ、地域での運動・スポーツの推進を図った。 スポーツに新たに取り組もうとする人や、スポーツを通じて健康を維持しようとする人に向け、広報ずしや市ホームページ、SNS、市内広報板によるスポーツ実施と健康づくりに関する情報発信を行った。 ②総合型地域スポーツクラブの普及・啓発 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度会員登録数は、502件で前年度より10件増加した。高齢者体力アップ体操、バドミントン等人気のあるメニューの開催回数を増やすことで、多くの人が参加できる環境を作り、参加者数及び会員登録者数の増加を目指した。 広報ずしや市ホームページ、市内広報板により、総合型地域スポーツクラブの教室等の情報発信を行っているが、より広く情報発信ができる仕組みを検討する必要がある。
-----------------------	--

評価シート 3-1

	<p>③逗子市スポーツの祭典の開催</p> <ul style="list-style-type: none">・41種目の企画を実施した。年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツが楽しめるイベントとして、ボッチャやコーンホールなどの経験がなくても楽しめるスポーツを実施し、子どもから高齢の方まで多くの方に参加いただいた。・連携企画としては、脳体力測定会やベジチェック、脳トレリズム体操など、未病関連の企画が多く、参加者に好評であった。・参加者アンケート中、「スポーツの祭典がスポーツを始める（再開する）きっかけになると思いましたか。」の問い合わせ、「思う」との回答が全体の65.8%となり、スポーツの祭典がスポーツをする意欲を喚起し、スポーツをするきっかけづくりに寄与することができた。 <p>④マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none">・マリンスポーツの推進について、（公財）逗子市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ「うみかぜクラブ」により、逗子ならではの地形を活かした種目、ヨットやウインドサーフィン、海岸を利用したヨガを実施した。 <p>⑤子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・（公財）逗子市スポーツ協会に委託し、8種目のジュニアスポーツ教室を実施した。・小学生のためのスポーツ団体一覧を作成し、市立小学校児童に配付、市ホームページの掲載及び公共施設に配架することで、子どものスポーツ推進のきっかけづくりとなっている。・子どもと保護者向けのプログラムとして、「子育て応援広場」や「産後ママの姿勢改善」を実施し、子育て世代の方へ身体を動かす機会を提供することができた。 <p>今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・市民の生活の中での運動やスポーツの位置づけは、ライフステージとともに変化することから、スポーツの祭典等のイベントの際のアンケートなどから市民ニーズを的確
--	--

評価シート 3-1

	<p>に把握して、運動する機会、スポーツに触れる機会が増えるよう、種目及び時間帯を工夫し、庁内関係課と施策間の連携を図りながら、イベントや教室等の質、量の充実を図るなど、効果的な事業実施に努めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「逗子市スポーツ推進計画」の4つの基本目標〔健康づくり〕、〔場づくり〕、〔交流づくり〕、〔基盤づくり〕を進めていくうえで、市民、地域、スポーツ関係団体、学校等との協働により、それぞれが主体的なスポーツ推進の担い手となって取り組むことができる環境づくりに努めていく。
外部有識者の意見	<p>①スポーツ活動に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツの体験会だけでなく、障がい者が継続的にスポーツを行える機会や教室を実施すると良い。 ・高齢者や子どもに対するスポーツの推進が多いが、現役世代へのアプローチも必要だと考える。 <p>②総合型地域スポーツクラブの普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの普及方法として、ホームページや広報板への掲載を記載しているが、より広くの方の目に留まるような方法を考える必要がある。 <p>③逗子市スポーツの祭典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけの企画数、参加者数のイベントを11回も実施していることは高く評価できる。 ・逗子市スポーツの祭典への参加を最終目標にせず、逗子市スポーツの祭典をきっかけにスポーツを継続的に行ってもらうことがとても大事だと考える。 ・赤ちゃんハイハイレースは、普段なかなかスポーツ施設に来ることができない家庭が多い中、親子で参加できる良い企画であったので、今後も継続すること。 <p>④マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に行えるように海難事故や、夏期の気温に最善の注意を図ること。 <p>⑤子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへのスポーツ教室やスポーツ団体の周知は、

評価シート 3-1

	<p>チラシを配るだけでなく、学校へ出向いて教室を行う等の直接的な周知が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・文字を多く使用したチラシよりも、写真や、映像などを使用した方が、子どもの興味を引くことが可能であり周知方法として効果的だと思う。
今後の取り組みの方向性	<p>①スポーツ活動に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者や子どもに対するスポーツの推進のみならず、障がい者、現役世代がスポーツを継続的に行えるような機会を提供できるよう検討する。・各地域で行っている、地域体育祭は、子どもたちが学校ではない場所でスポーツができる良い機会であり、今後も継続すること。 <p>②総合型地域スポーツクラブの普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none">・総合型地域スポーツクラブ「うみかぜクラブ」にて地域の小さいお子様からお年寄りまで楽しめるメニューを実施していることを、より多くの方に周知できるよう改めて方法を検討していく。 <p>③逗子市スポーツの祭典</p> <ul style="list-style-type: none">・逗子市スポーツの祭典の参加者が継続的にスポーツを続けていけるよう総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会の教室等も合わせてPRを行っていく。 <p>④マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none">・安全にスポーツを行えるよう海難事故や、夏期の熱中症等への対策を検討しながら、マリンスポーツ等、海でのレジャー体験を継続して推進していく。 <p>⑤子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・学校に直接出向いたスポーツ教室の開催などを検討し、子どもたちが様々なスポーツに触れる機会を増やしていく。

評価シート 3-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	スポーツ活動に係る事業の推進
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	スポーツ推進事業（スポーツ支援体制の充実）
実施内容	<p>目的：市民のスポーツによる健康づくりのための支援体制を構築する。</p> <p>手段：スポーツによる健康づくりのための相談及び相談機会の情報提供を行う。また、スポーツ・健康づくりの教室、指導者等の情報収集及び運用方法等を検討する。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○逗子アリーナ未病センターにて、(公財)逗子市スポーツ協会によるスポーツ健康相談等を実施した。 健康相談 45回、相談者139人 (前年度 51回、相談者159人) ○(公財)逗子市スポーツ協会が市役所未病センターと連携し、スポーツによる健康づくりをサポートする場としての周知に努めた。 ○第72回逗子市内一周駅伝競走大会を開催した。 実施日 2025年1月12日（日） 地域対抗の部 13チーム参加 団体対抗の部 27チーム参加 ○地域体育祭を実施した。 桜山 実施日：9月15日（日） 参加者：200人 小坪 実施日：10月6日（日） 参加者：650人 久木 実施日：10月13日（日） 参加者：900人 東逗子 実施日：10月6日（日） 参加者：1774人 逗子 実施日：10月19日（土） 参加者：320人 池子 実施日：10月12日（土） 参加者：570人 新宿 実施日：9月23日（月祝） 参加者：120人 山の根 実施日：9月21日（土） 参加者：150人

評価シート 3-1

取り組み②	総合型地域スポーツクラブの普及・啓発								
担当課	文化スポーツ課								
関係する事業名	逗子市スポーツ協会の自主事業								
実施内容	<p>目的：生涯にわたって、誰もが気軽にスポーツを楽しみながら、健康維持・増進と地域の交流を深めることに寄与する。</p> <p>手段：(公財) 逗子市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ「うみかぜクラブ」との協議により高齢者向けスポーツのプログラムを含む各種教室を実施する。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うみかぜクラブの会員登録数及び参加者数を増やすため、実施メニューを精査し、人気のあるメニューの開催回数を増やした。 <ul style="list-style-type: none"> ・全メニュー数 19 件 (前年度 16 件) ・延べ開催回数 782 回 (前年度 753 回) ・延べ参加者数 21,504 人 (前年度 21,478 人) ○うみかぜクラブ会員登録件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>526 件 (583 人)</td> <td>492 件 (541 人)</td> <td>502 件 (550 人)</td> </tr> </tbody> </table> ○高齢者向けの体力アップ体操・シニアヨガを引き続き開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者体力アップ体操 延べ参加人数 1,385 人 (前年度 1,618 人) ・シニアヨガ 延べ参加人数 1,696 人 (前年度 1,838 人) ○広報ずしや市ホームページ、市内広報板により、総合型地域スポーツクラブの教室等の情報発信を行った。 	年度	R 4	R 5	R 6	件数	526 件 (583 人)	492 件 (541 人)	502 件 (550 人)
年度	R 4	R 5	R 6						
件数	526 件 (583 人)	492 件 (541 人)	502 件 (550 人)						

取り組み③	逗子市スポーツの祭典の開催
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	スポーツ推進事業 (逗子市スポーツの祭典)

評価シート 3-1

実施内容	<p>目的：市民が生涯にわたって、生活の一部にスポーツを取り入れ、スポーツを楽しんでいくために、子どもから高齢者まで、すべての市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を提供し、継続的にスポーツをするためのきっかけづくりとする。</p> <p>手段：逗子市スポーツの祭典実行委員会が主催し、(公財)逗子市スポーツ協会をはじめ市内スポーツ関連団体等と協働して、逗子市スポーツの祭典を開催する。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○逗子市スポーツの祭典2024を開催 <ul style="list-style-type: none"> 開催日時：10月20日（日） 開催場所：逗子アリーナ、第一運動公園 参加者：2,574人（前年度 2,278人） イベント数：41種目 （前年度：雨天により 42種目中 30種目実施）
------	--

取り組み④	マリンスポーツ等、海でのレジャー体験の推進による地域ブランディング
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	スポーツ推進事業
実施内容	<p>目的：豊かな自然を活用して、マリンスポーツ教室や、新たなアウトドアスポーツを企画・実施し、アウトドアスポーツによる集客を促進する。</p> <p>手段：(公財)逗子市スポーツ協会に委託し、マリンスポーツの教室を実施する。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ協会実施のスポーツ教室や総合型地域スポーツクラブ「うみかぜクラブ」でヨット、ビーチヨガを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 ヨット 12人（前年度 14人） ビーチヨガ 91人（前年度 120人） ○ジュニアスポーツ教室で、ヨット及ウインドサーフィンを実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者

評価シート 3-1

	<p>ヨット 19 人（前年度 20 人） ウィンドサーフィン延 71 人（前年度延 70 人） • マリンスポーツ等の大会開催への後援を行った。</p>
取り組み⑤	子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進
担当課	文化スポーツ課
関係する事業名	スポーツ推進事業
実施内容	<p>目的：スポーツを習慣化させるには、子どもの頃からスポーツを楽しむことが重要であることを踏まえ、多様なスポーツができる環境づくりを促進する。</p> <p>手段：（公財）逗子市スポーツ協会に委託し、ジュニアスポーツ教室等を実施する。</p> <p>実績：（前年との比較等）</p> <p>○ジュニアスポーツ教室を 8 種目で実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者： <p>レスリング 13 人（前年度 15 人） 卓球 7 人（前年度 4 人） 陸上 20 人（前年度 26 人） 水泳 113 人（前年度 79 人） ヨット 19 人（前年度 20 人） ウィンドサーフィン延 71 人（前年度延 70 人） バドミントン 22 人（前年度 19 人） テニス 14 人（前年度 16 人）</p> <p>○子どもと保護者のスポーツをする機会の提供として、子育て応援広場（23 回・248 人）、産後ママの姿勢改善（1 回・6 人）等を実施した。</p> <p>○小学生のためのスポーツ団体一覧を作成し、市立小学校児童に配付、市ホームページに掲載、公共施設に配架するなど周知を図った。</p>

4 学校教育の充実したまち

(基本構想の取り組みの方向)

人は自然と社会の中で生涯学び続けていくことが必要です。その入り口の一つとして学校教育は大きな役割を果たすものです。今日、価値観の多様化や高度な情報化社会の中にあって、子どもたちが身につけなければならない力は多岐にわたっています。これまで受け継がれてきた知識や文化・伝統などを踏まえ、地域社会や家庭と連携し、互いの個性を尊重し合う人間性溢れる教育、限りある命を生きていることの素晴らしさを感じることができる教育を行っていくこと、そしてこれからの国際社会の一員として生きていく力を育むことが必要です。

いつの時代にも変わってはならない本質の部分を土台に、その時々の教育的課題に臨機応変に対応して、「豊かな人間性」・「確かな学力」・「健康な心身」を目標として『自ら考え、心豊かに、たくましく生きる逗子の子ども』の育成を図ります。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 4-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：学校教育課・療育教育総合センター】

具体的施策								
教員の指導力及び教育課題への対応力向上								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」に①「授業がよくわかる」②「学校が楽しい」の項目を設け、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答が両項目80%以上になっている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		50%	50%	80%	80%	80%	80%	80%
実績		①85% ②85%	①88% ②91%					
具体的施策を構成する主な取り組み								
① 教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業の推進 ② 教育指導教員の派遣 ③ 授業研究校の委託（授業研究の充実） ④ 研修の充実 ⑤ 各担当者会の充実 ⑥ 学校給食の安定的な提供 ⑦ 学校施設の整備・充実								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>昨年度指摘を受け、児童・生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」については、共通項目として上記2項目を必須とした。目標値の変更が間に合わず50%となってはいるが、実質は常に平均80%を維持する長期目標とするよう見直しをした。それぞれの項目について、一定の成果は見られたところである。</p> <p>いじめ防止について、昨年度に引き続き、悉皆研修を4月に実施。自校の学校いじめ防止基本方針を多くの目で見直しを行うことで、多くの教員が意識を高められた。</p> <p>また、不登校施策として、全小中学校の校内支援教室への専任指導員の配置を完了し、不登校対策の強化につなげられた。子どもや保護者及び学校教職員からの肯定的な声も多い。ただ、昨年度同様、市内で一定数存在するどこともつながっていない子どもたちへの対応は、引き続き今後の課題としている。</p>
-----------------------	--

評価シート 4-1

	<p>教育指導教員、巡回チームを各学校に派遣し、経験の浅い教員を中心に授業を参観し、その都度指導助言を行った。指導対象の教員が増加傾向であり、充分な指導助言ができない状況がある。</p> <p>各学校における委託研究や年間通して行われる研修において、授業力向上や学校課題への対応力向上を図った。</p> <p>特に、個別最適な学び、協働的な学びをテーマにした授業改善に対する意識の向上が見られた。</p> <p>研修、担当者会の充実では、年間通して研修を実施しているが、特に夏季に集中して行った。参加者からの評価は4段階で平均3.8評価であった。</p> <p>また、教員の学びについて、市教委の在り方も見直しを図っている。教員の主体的な学びに市教委は伴走するという学校と市教委との関係性を構築すべく取り組んだ。一部の学校では、教員の研修への向き合い方に良い変化が見られた。</p>
外部有識者の意見	<p>①「授業がよくわかる」が88%、②「学校が楽しい」が91%という数字は素直に評価出来る。ただ、肯定的評価をした児童・生徒は何を持って「わかる」「楽しい」としたのか、具体的に把握することも疎かには出来ない。</p> <p>また、市教育委員会として教員の指導力を高めるため直接的な研修を実施することは大切だが、各学校の校内授業研究・校内OJTによる教員相互の指導力向上の取り組みに対する、直接的・間接的支援も重要な視点である。</p>
今後の取り組みの方向性	<p>授業がよくわかるようになるため、学校が楽しいと感じられるため、学び合える集団づくり、仲間づくりの大切さは学校と共に認識を持って進めていく。</p> <p>また、「主体的・対話的で深い学び」を通し、児童・生徒の資質・能力の育成が図られるよう、授業づくりについて指導助言していく。</p> <p>なお、教員の指導力向上のための人材育成については、学校と市教委とで協力し進めていく。</p> <p>さらに、児童・生徒一人ひとりを受け止め寄り添う「発達支持的生徒指導」を大切にし、いじめの未然防止や安心・安全な居場所づくりを継続する。</p>

評価シート 4-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業の推進
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業 支援教育充実事業
実施内容	<p>目的：教職員の資質向上、学校教育諸活動の充実、学校教育の活性化を図る。</p> <p>手段：授業と学級経営に係る自己チェックリストの活用。 支援教育推進巡回チームや教育指導教員による指導・助言</p> <p>実績：チェックリストは校長会議等諸会議において活用を依頼するなど全教職員に活用を促してきた。また、チェックリストの「解説」をグループウェア（and.T）のキャビネットに掲載し、手軽に自己点検と改善に活用できるようしている。さらに、支援教育推進巡回チームや教育指導教員からの指導では、個別支援、集団指導両面からの指導助言をチェックリストも活用しながら行った。個別支援は保護者や学習支援員からの指導助言依頼も多く、研修講師を務める機会も多く、評価も好評であった。</p> <p>学校の諸課題対応として、いじめの悉皆研修を4月に行なった。また、不登校施策として全小中学校への校内支援教室専任指導員の配置を行なった。</p>

取り組み②	教育指導教員の派遣
担当課	学校教育課
関係する事業名	少人数指導教員・教育指導教員派遣事業
実施内容	<p>目的：教員の資質向上及び指導力向上</p> <p>手段：教育指導教員の各学校への派遣。</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度：小378時間、中712時間指導を実施</p> <p>令和5年度：小499時間、中713時間指導を実施</p>

評価シート 4-1

取り組み③	授業研究校の委託（授業研究の充実）
担当課	学校教育課
関係する事業名	学校教育・調査研究事業
実施内容	<p>目的：教職員の資質向上、学校教育諸活動の充実、学校教育の活性化を図る。</p> <p>手段：講師を招聘し課題に沿った研修を企画実施する。</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度実績：令和5年度同様全8校に委託し、各学校が適切に研究を行った。各学校の実態に合わせてテーマを設定し、主体的な研究活動を行い、指導力向上につなげた。</p>

取り組み④	研修の充実
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	学校教育調査・研究事業
実施内容	<p>目的：教職員の資質向上、学校教育諸活動の充実、学校教育の活性化を図る。</p> <p>手段：県が示す3つの期に対応した研修の実施 講師を招聘し課題に沿った研修を企画実施</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度実績：</p> <p>年次研修 経験年数を5段階に分け実施 夏季研修 25講座実施 参加人数 1154名</p> <p>令和5年度実績：</p> <p>年次研修 経験年数を5段階に分け実施 夏季研修 25講座実施 参加人数 952名</p>

取り組み⑤	各担当者会の充実
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	支援教育充実事業

評価シート 4-1

実施内容	<p>目的：教職員の資質向上、学校教育諸活動の充実、学校教育の活性化を図る。</p> <p>手段：学校課題に応じた担当者会を行い、相互の情報交換や課題解決に向けた検討や研修を行う。</p> <p>実績：</p> <p>中学校区や同じ学校課題を持つ担当者同士で課題共有し、解決のための協議や検討を行った。指導主事から国や県の動向を伝達したりすることで、よりよい教育活動の推進につなげた。担当者の前年度の振り返りを活かした研修会や協議の場を学校課題に合わせて設けることで、組織的な取り組みに近づけられた。</p> <p>令和6年度実績：担当者会 8種類実施</p> <p>令和5年度実績：担当者会 7種類実施</p>
------	--

取り組み⑥	学校給食の安定的な提供
担当課	学校教育課
関係する 事業名	小学校給食運営事業 中学校給食運営事業
実施内容	<p>目的：学校給食法に示された、学校給食の目的と目標を実現、達成し、安定的な学校給食の提供を行う。</p> <p>手段：(小学校給食) 委託（4校）と直営（1校）を併用した自校方式による給食の提供、各校の給食室の適切な維持管理</p> <p>(中学校給食) 委託業者の所有する外部調理場で調理された食缶方式による給食の提供</p> <p>実績：</p> <p>(小学校給食)</p> <p>令和6年度：139,050,112円</p> <p>令和5年度： 88,936,344円</p> <p>(中学校給食)</p> <p>令和6年度：113,685,793円</p> <p>令和5年度：109,245,142円</p>

評価シート 4-1

取り組み⑦	学校施設の整備・充実
担当課	教育総務課
関係する 事業名	学校施設整備事業（小学校） 学校施設整備事業（中学校）
実施内容	<p>目的：市立小中学校における良好な教育環境の整備を図る。 手段：学校からの要望等に基づき、緊急性・優先度を考慮し、建物の老朽化対策ほか、大規模改修工事を施工する。</p> <p>実績：令和6年度学校施設整備事業費 （小学校）40,608,366円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逗子小学校校舎屋上柵改修工事代 12,232,000円 ・沼間小学校防球ネット改修工事代 4,400,000円 ・池子小学校PAS更新工事代 1,299,100円ほか <p>（中学校）16,782,742円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼間中学校昇降口改修工事代 8,470,000円 ・沼間中学校PAS更新工事代 1,299,100円ほか

評価シート 4-2

令和6年度の点検・評価

【担当課：療育教育総合センター】

具体的施策								
子どもの発達段階に応じた継続的な支援								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
療育教育総合センターを18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合が18.9%になっている。								
目標	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		15.4%	16.1%	16.8%	17.5%	18.2%	18.5%	18.9%
実績	14.9%	17.1%	19.5%					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①療育教育総合センターの運営（療育推進事業の推進） ②早期発見・早期療育のための相談体制等の充実 ③学校や保護者との連携の推進 ④支援が必要な児童・生徒についての情報共有の充実 ⑤学校教育を支援する専門性の高いスタッフの派遣（校内支援体制を活用した支援教育の推進）								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>① ②</p> <ul style="list-style-type: none">・18歳までに一度でも利用したことのある市内の子どもの割合は、令和6年度末時点で19.5%となった。「発達障がい」や「療育」についての世間認知度が上がったことによる利用者の増加、及び18歳以下人口の大幅な減少により割合が上昇した。・市民向け公開講座について、会場及びオンライン配信を併用して開催した。また、利用者との連絡調整や関係機関との円滑な連携を図るため、電話やメール、オンライン等を適宜活用している。・SNS(Instagram)を開設し、療育支援に関する情報発信力の強化を行っている。③園の懇談会に参加し、就学について話す場を設けてもらっている。未就学の保護者に安心して小学校入学を迎えるよう話す内容を園長と相談している。また、就学相談に向けた行動観察を実施し、子どもの様子を丁寧に保護者に伝え、よりよい就学を保護者がイメージできるよう工夫している。療育と教育の違いや相互関係を保護者や学
-----------------------	--

評価シート 4-2

	<p>校に理解してもらうため、手引を作成し丁寧に説明している。</p> <p>④巡回チームや教育相談など、関わる支援者がチームとなってケース会議等に積極的に出席し、役割分担をしながらお互いに情報を共有し、支援に生かした。</p> <p>⑤巡回チームとして支援教育推進巡回指導員や巡回 SC を派遣し、集団と個の視点からアセスメントを行い、具体的対応について学校への提案等を行っている。教職員との信頼関係を築き、チーム学校を支える体制づくりについて助言を重ねている。学校のニーズは多く、アセスメント等の件数も増えている。巡回チームに頼る傾向が強く、教員全体の支援教育に対する知識・技能の向上であり、学校の自走を伴走することを心掛けている。</p>
外部有識者の意見	<p>①②安定した定員充足率を達成し、地域における関係諸機関との多様な連携のもとに充実した療育センターの役割を果たしていると評価できる。情報発信ツールとしてSNS (Instagram) のなお一層の活用、相談・療育内容の充実深化に期待したい。</p> <p>③④⑤</p> <p>2029 年度目標である数値目標を 2024 年度にクリアしたことは評価出来る。</p> <p>背景にあるのは、療育と学校教育の担当者が同一施設内に常駐して、常に連携を図っていることが大きいと考える。</p>
今後の取り組みの方向性	<p>① ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育支援に関する発信力強化のため、SNS (Instagram) の効果的な運用に取り組む。 ・療育相談員、専門員等による相談体制の充実に努める。 <p>③支援シートを使いながらの情報共有に努める。また、療育の支援と教育の支援の相互関係が理解できるような相談に努め、研修等を行っていく。</p> <p>④支援シートを使いながらの情報共有に努める。</p> <p>⑤支援シート等を活用し、教員全体の知識・指導力向上に努める。</p>

評価シート 4-2

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	療育教育総合センターの運営（療育推進事業の推進）												
担当課	療育教育総合センター												
関係する事業名	療育推進事業												
実施内容	<p>目的：18歳までの子どものライフステージに応じて継続的に支援を行うため、療育教育総合センターを運営する。</p> <p>手段：子どもの人権を尊重し、一人ひとりの子どもが現在及び将来ともにその持てる力を十分に發揮した生活が営めるよう教育と連携した総合的な支援を行う。相談機能を充実させ、学齢期も含めたワンストップ相談受付ができる体制を整え、保護者や支援者の幅広いニーズに応じる。新たな療育体制を構築し、専門性を向上するとともに、教育との連携を強化し、就学後も継続した支援を行う。</p> <p>実績：</p> <p>【相談体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育相談員、専門員等の配置 (SW3名、療育学齢担当相談員2名、心理士3名、言語聴覚士3名、理学療法士1名、作業療法士3名、保健師1名、保育士1名、嘱託医3名) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談件数</th> <th>ケース数</th> <th>新規相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年度</td> <td>6,996件</td> <td>552件</td> <td>101件</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>7,960件</td> <td>541件</td> <td>106件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は、未就学では年長児が1,718件、学齢期では小学校低学年が1,010件とそれぞれ最も多く、就学前後の支援体制を強化し、教育との連携のもと就学後も継続した支援を行っている。 <p>【保護者支援・支援者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け公開講座は昨年度に引き続き、オンラインを併用して開催した。 (開催日：7月17日／対面とオンラインのハイブリッド) 		相談件数	ケース数	新規相談者数	令和6年度	6,996件	552件	101件	令和5年度	7,960件	541件	106件
	相談件数	ケース数	新規相談者数										
令和6年度	6,996件	552件	101件										
令和5年度	7,960件	541件	106件										

評価シート 4-2

	<p>ト方式／対面：13名、オンライン28名参加)</p> <ul style="list-style-type: none">・保育所、幼稚園等への巡回相談による支援者支援 <p>※（ ）は前年比</p> <p>(延べ54回(-3)／対象児実人数222名(-5)／延べ数375名(-4))</p> <ul style="list-style-type: none">・オープントイ <p>(開催日：令和7年1月8日/幼保小中職員 18名)</p> <ul style="list-style-type: none">・支援者向け研修会「こども発達支援センターの説明・OT講座」 <p>(開催日：10月22日/逗葉幼稚園協会研修 31名)</p> <ul style="list-style-type: none">・公式インスタグラムの開設 <p>(開設日：令和7年2月13日/フォロワー数116人 (令和7年7月1日現在)</p> <p>【教育等関係機関との連携】</p> <p>※（ ）は前年比</p> <ul style="list-style-type: none">・学校への巡回相談による支援者支援 <p>(延べ13回(-4)／対象児実人数36名(-6))</p> <ul style="list-style-type: none">・支援シート作成および作成会議への参加 <p>(年長時作成件数/実人数26名(-7)・作成会議延べ1回(±0)／対象児実人数2名(-4))</p> <ul style="list-style-type: none">・学校へのコンサルテーション <p>(延べ147件(-45))</p> <ul style="list-style-type: none">・就学予定児の情報連携会議 <p>(延べ9回(+1))</p> <ul style="list-style-type: none">・療育学齢担当相談員による各学校との情報共有のほか、就学相談説明会の実施及び校長・教頭会議、教育相談CO担当者会議、特別支援学級担当者会議、幼保小連携会議等への出席 <p>【療育機能の充実】</p> <p>未就学からの持ち上がりにより、放課後等デイサービスの人数が増加している。※（ ）は前年比</p> <ul style="list-style-type: none">・児童発達支援事業の実施（対象：未就学） (実人数31名(-4)／延べ1,459回利用(-37))・放課後等デイサービスの実施（対象：学齢）
--	---

評価シート 4-2

	(実人数 59 名 (+5) / 延べ 1,766 回利用 (+174))
--	---------------------------------------

取り組み②	早期発見・早期療育のための相談体制等の充実
担当課	療育教育総合センター
関係する事業名	療育推進事業
実施内容	<p>目的：療育を必要とする子どもの早期発見・早期療育への対応のための相談体制及び家族のケアの充実を図る。</p> <p>手段：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育相談員、専門員等を配置し、相談支援に当たる。 (SW3名、療育学齢相談員2名、心理士3名、ST3名、PT1名、OT3名、保健師1名、保育士1名、嘱託医3名) ・関係機関との連携により、早期相談につながる体制を構築するとともに、療育部門くろーばーとの連携により、経過観察グループから療育支援につなげる体制の充実を図る。 <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数 101 件の内訳は、未就学 58 件 / 学齢 43 件と未就学の割合が高く、早期発見・早期療育を実現している。 ・上記未就学 58 件のうち、健診を含む子育て支援課、巡回を含む幼稚園・保育園からの紹介は 32 件と、関係機関との連携により相談につながっている。 ・定期巡回時の保護者との面談件数も増加しており、来所以外の相談体制の充実を図っている。 (面談件数：46 件 (前年比+10 件)) ・療育部門との連携により、経過観察グループから療育支援につながる体制ができている。また、療育相談や経過観察グループの保護者プログラム等で家族のケアを行った。(児童発達支援事業の実施：実人数 31 名 (-4) / 延べ 1,459 回利用 (-37)) <p>※ () は前年比</p>

評価シート 4-2

取り組み③	学校や保護者との連携の推進
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	就学事務事業 支援教育充実事業
実施内容	<p>目的：切れ目ない支援が丁寧に行われるよう、接続期（小中学校入学前）における引継ぎを充実させる。</p> <p>手段：①新就学説明会を各園等で行う。 ②小6保護者説明会を行う。 ③学校見学、行動観察、面談を重ね、丁寧な就学相談を行う。</p> <p>実績：</p> <p>①市内5つの園で開催。こども発達支援センターの説明会にも参加。</p> <p>②教育研究相談センターにて開催。特別支援学級在籍保護者以外にも出席する保護者が増えた。</p> <p>③就学相談面談は2回以上行い、保護者と学びの場の選択へ向け丁寧に合意形成を図ることが出来た。</p>

取り組み④	支援が必要な児童・生徒についての情報共有の充実
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	支援教育充実事業
実施内容	<p>目的：学校と教育研究相談センターが情報を整理し、相互連携の充実をはかり、児童生徒理解や、支援に生かす。</p> <p>手段：①相談員、カウンセラー等関係する他機関がケース会議に参加し、情報共有を図る。 ②支援シートを活用し、適切な支援が共有できるようにする。 ③夏季研修での支援研修を充実させる。</p> <p>実績：</p> <p>①相談員がケース会議へ参加する回数の増加、不登校児童や生徒に動きが出るケースの増加。</p> <p>②カウンセラー等が学校を巡回する際に支援シートを活</p>

評価シート 4-2

	用するケースの増加。 ③喫緊の課題に即した夏季研修の開催。
取り組み⑤	学校教育を支援する専門性の高いスタッフの派遣(校内支援体制を活用した支援教育の推進)
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	教育相談事業
実施内容	<p>目的:各校への巡回によって児童生徒の援助ニーズを把握し、関係者への情報提供を行い、具体的対応についての提案を行う。継続的に巡回を実施することで、児童生徒、学級状況の経過観察に基づく提案を行う。</p> <p>手段:学校の取り組みをサポートするため、スクールカウンセラー、支援教育推進巡回指導員、学習支援員、学校看護介助員などを学校に派遣する。</p> <p>実績:</p> <p>スクールカウンセラー地域連絡協議会を年2回開催し、アドバイザーをよんでケース共有を行うなど、児童・生徒の支援の充実を図った。また、巡回指導員が支援員への研修を重ね、関わる職員がチームとなって学校教育を支援した。</p> <p>スクールカウンセラー、支援教育推進巡回指導員、学習支援員、学校看護介助員がチーム学校としてそれぞれの専門性を生かして、個・集団への具体的な関わり方や支援方法等についての提案を行った。</p>

評価シート 4-2

評価シート 4-3

令和6年度の点検・評価

【担当課：学校教育課・療育教育総合センター】

具体的施策								
ICTを活用した授業と情報教育の推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の「教員のICT活用指導力等の実態の項目」のうち①「授業にICTを活用して指導する能力」②「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の「できる」「ややできる」の回答が両項目80%以上になっている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		40%	45%	80%	80%	80%	80%	80%
実績		①77% ②77%	①78% ②78%					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①授業におけるICT機器の効果的な活用 ②児童・生徒の発達段階に応じた情報モラル教育と情報リテラシーの育成方法の研究								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>GIGA端末の授業内での「活用頻度を上げること」を目標としていた時期を過ぎ、「効果的な活用」を目標とする教員が少しずつ増えてきている。授業内での活用にメリハリが出てきた感がある。教員の自己評価も昨年度に引き続き78%と比較的良好であった。夏季研修等、ICTを効果的に活用する授業づくりにつながる研修の実施や、指導員からの日常的な助言などの成果とも考えている。わかる授業づくりの良きツールとなっていくよう各学校での継続研究テーマとしたい。</p> <p>一方、GIGA端末の活用が当たり前になるとともに、個人端末の活用も飛躍的に進んでいる社会状況の中で、SNS等を介したトラブルの増加も学校の大きな課題の一つになっている。各学校で計画的に情報モラル教育に取り組み、児童生徒の意識を高めるよう努めている。児童生徒だけでなく、教員向け、保護者向けの研修など、子どもと大人との両方の学びを推進していくことが必要と考えている。</p>
-----------------------	---

評価シート 4-3

外部有識者の意見	<p>毎年度新しい教員が加わること、ICT活用に苦手感のある教員が固定化すること等を考慮すると78%という数字は妥当な数字かも知れない。ただ、これを超えるのは簡単ではないだろう。</p> <p>とすれば、対象教員を絞った研修や各学校で核となる教員（情報教育推進委員）を中心としたOJT支援などが必要となろう。</p>
今後の取り組みの方向性	<p>授業内でICT機器を使用する頻度や回数に着目するのではなく、児童・生徒の資質・能力を育むために有効であったかという視点で指導助言を継続し、授業者の指導力の向上を目指す。</p> <p>また、教育情報化推進会議を活用し、学校の困り感や教職員のICTに関する課題、好事例を共有するなど、各校のICT活用を推進する。</p> <p>各校において、児童・生徒だけでなく、教職員や保護者についても、情報モラルやリテラシーを計画的に高めていくよう、教育委員会としてもサポートしていく。</p>

評価シート 4-3

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	授業における ICT 機器の効果的な活用
担当課	学校教育課・療育教育総合センター
関係する事業名	教育用コンピュータ維持管理事業、少人数指導・教育指導教員派遣事業、逗子市夏季研修会事業
実施内容	<p>目的：ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善について考える。</p> <p>手段：教育指導員、教育指導教員及び指導主事の派遣</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育指導教員派遣 令和6年度：小378時間、中712時間指導を実施 令和5年度：小499時間、中713時間指導を実施 指導主事の派遣 令和6年度、5年度ともに年間を通して隨時派遣

取り組み②	児童・生徒の発達段階に応じた情報モラル教育と情報リテラシーの育成方法の研究
担当課	学校教育課
関係する事業名	教員の授業力・学級経営力・児童生徒指導力向上重点事業
実施内容	<p>目的：教職員の資質向上、学校教育諸活動の充実、学校教育の活性化を図る。</p> <p>手段：教育情報化推進会議の場を活用する。</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度実績：令和5年度同様、児童・生徒の発達段階に応じた情報教育の在り方について、各校年間計画に位置付け研究実践し、教育情報化推進会議の場で各学校の取り組みや実状を情報交換してきた。教育活動の中では、各教科や総合的な学習の時間等で、タブレット端末を活用する際に、繰り返し、インターネットやSNSとの適切な関り方について考える機会を設けるなどしている。SNSがきっかけとなるトラブルはなくならない状況であるが、継続した学びが必要と捉え、引き続きタイミングや内容を工夫しながら実践していく。</p>

評価シート 4-3

評価シート 4-4

令和6年度の点検・評価

【担当課：学校教育課・療育教育総合センター】

具体的施策								
地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
地域講師を活用した授業を各小・中学校で年3回実施する。								
目標	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標	1回	年1～2回	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	年3回以上	3回
実績	2回	6回						
具体的施策を構成する主な取り組み								
①コミュニティ・スクールの実現 ②効果的な研修内容の企画と提示 ③幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携の推進								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>目標値の見直しを行った。多ければいいということではないので、見通しを持った計画を立てていくよう学校には依頼をするようにした。</p> <p>授業における地域講師の活用は計画的に行われていた。教師が主導で活用するケースと、子どもからのニーズによる活用との両方が見られる。できるだけ、子ども発信での活用を進めたい。計画的な活用と矛盾するようにも思われるが、大きくなくくりで地域人材の活用を計画しておき、子どもの声で内容を選択できるような柔軟な形も考えたい。</p> <p>西部（久木中、久木小、小坪小）コミュニティ・スクール実現に向けた導入準備会を立ち上げた。管理職ミーティングを定期的に行いながら、教職員への制度理解の浸透と、地域への説明など、充分とは言えないながらも進められた。スタートさせるにあたり、より分かりやすい内容の周知をすることで、理解の浸透度を上げることが課題である。</p> <p>幼保小の架け橋期のスタートカリキュラムの検討をすすめ、昨年度末に完成させたスタートカリキュラムをもとに、4月から各小学校において実践した。実践・改善の流れをつくり、よりよい学びの継続となるようにしていくことが課題である。</p>
-----------------------	---

評価シート 4-4

外部有識者の意見	<p>逗子市における、これまでの学校と地域の取り組み実績を考えると、KPIの地域講師活用授業年3回以上を達成することは容易であろう。</p> <p>主な取り組み①（コミュニティ・スクールの実現）に踏み出したことは大きな一歩と言える。学校がお膳立てするのではなく、地域が主体的に運営に参画する組織となることを期待する。</p>
今後の取り組みの方向性	<p>西部に続き、東部・中部についてもコミュニティ・スクールがスムーズにスタートしていくよう、地域への理解を図りつつ、教育委員会として伴走していく。地域が主体的に運営に参画する組織となるには一定の時間をすると思われるが、慌てて形だけ整え、形骸化した組織とならないように、じっくりと取り組んでいく。</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携については、校種間連携にとどまることなく、「学びの継続」意識をもって、すべての教員が自分事として向き合っていくよう、教育委員会としてもかかわっていく。</p>

評価シート 4-4

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	コミュニティ・スクールの実現																											
担当課	学校教育課																											
関係する事業名	学校支援地域本部事業																											
実施内容	<p>目的：地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進 手段：各学校に事業を委託し、地域と学校とで学校の実態に合わせた取り組みを行う。 西部コミュニティ・スクールの導入にむけた準備会を発足する 実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部 各学校とも、ニーズに合わせて多くの地域の方に支援に入ってもらった。年度や学校によってニーズのばらつきはあるが、概ね横ばいの支援回数であり、地域の支援で充実した学校教育活動が行えている。具体的な支援回数は以下表のとおりである。 一方支援に入っていただく地域の方々の高齢化により、持続可能性に課題が出てきている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゲストティーチャー型</td> <td>26回</td> <td>35回</td> </tr> <tr> <td>学習アシスタント型</td> <td>194回</td> <td>512回</td> </tr> <tr> <td>施設メンテナー型</td> <td>0回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>環境サポート型</td> <td>51回</td> <td>89回</td> </tr> <tr> <td>部活動サポート型</td> <td>227回</td> <td>148回</td> </tr> <tr> <td>安全見守り型</td> <td>0回</td> <td>110回</td> </tr> <tr> <td>教育指導教員型</td> <td>77回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育支援型</td> <td>23回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール 令和6年度実績：西部導入（令和7年度）準備会の発足、導入に向けた定期的な管理職ミーティングの開催、学校、PTA及び地域関係者との研修会の実施 		令和6年度	令和5年度	ゲストティーチャー型	26回	35回	学習アシスタント型	194回	512回	施設メンテナー型	0回	0回	環境サポート型	51回	89回	部活動サポート型	227回	148回	安全見守り型	0回	110回	教育指導教員型	77回	0回	特別支援教育支援型	23回	
	令和6年度	令和5年度																										
ゲストティーチャー型	26回	35回																										
学習アシスタント型	194回	512回																										
施設メンテナー型	0回	0回																										
環境サポート型	51回	89回																										
部活動サポート型	227回	148回																										
安全見守り型	0回	110回																										
教育指導教員型	77回	0回																										
特別支援教育支援型	23回																											

評価シート 4-4

取り組み②	効果的な研修内容の企画と提示
担当課	療育教育総合センター
関係する事業名	調査・研究事業
実施内容	<p>目的：地域全体で学校を支援する体制づくり及び、指導員の知識、技能向上。</p> <p>手段：放課後児童クラブやふれあいスクール指導員が参加できる子どもに関わる研修内容を検討し夏季研修会にて企画し、参加を促していく。</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校教職員以外の参加者数は合計 181 名。 ・市費 SC によるふれあいスクール指導員への研修を 5 施設で年 1 回実施。 <p>令和5年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校教職員以外の参加者数は合計 174 名。 ・市費 SC によるふれあいスクール指導員対象研修を 5 施設で年 1 回実施。

取り組み③	幼稚園・保育園・小学校・中学校との連携の推進
担当課	学校教育課
関係する事業名	就学事務事業 調査・研究事業
実施内容	<p>目的：幼児教育・保育と小学校教育との発達や学びの連續性を踏まえた教育内容の充実</p> <p>手段：年間 3 回の会議を実施（うち 1 回は夏季研修会を兼ねる）し、実践を共有する。</p> <p>実績：</p> <p>令和6年度実績：令和5年度同様、幼・保・小連携推進連絡調整会議 2 回実施するとともに、夏季研修を 1 回実施した。加えて、「架け橋期のカリキュラム研究員会」を年 3 回実施することで、令和5年度に準備してきた具体的なカリキュラム作成ができた。</p>

5 ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち

(基本構想の取り組みの方向)

わたしたちの身近にある様々な文化財は、先人たちの暮らしの中で生まれ、育まれ、受け継がれてきたものであり、このまちに暮らすわたしたちの心を支え、豊かにするものとして後世にながく伝え、いかしていくべきふるさとの遺産です。

文化財を適切に保存しつつ、わたしたちの身近な歴史から共に学び、共に育ち、次世代へ誇りや愛着をつないでいくまち、ふるさとの遺産を共にまもり、つないでいくまちをめざします。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 5-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：社会教育課】

具体的施策								
文化財保護の推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
市指定文化財の数が24件に増加している。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標	22	23	23	23	23	23	24	24
実績	21	22	23					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①文化財の展示活用の推進 ②史跡の公開活用 ③未指定文化財の調査（文化財の新規指定及び積極的な公開活用）								

自己評価 (工夫している点、課題等)	<ul style="list-style-type: none">新たに市指定文化財を1件（木造十一面觀音菩薩坐像）指定したほか、長柄桜山古墳群第1号墳の保存整備工事が終了し、完成記念イベント等を行った。
外部有識者の意見	<ul style="list-style-type: none">文化財指定や史跡整備が順調に進んだことは評価する。候補物件は多数あるので毎年指定できるよう計画的に準備を進めるほか、市民への周知にも努められたい。
今後の取り組みの方向性	<ul style="list-style-type: none">指定候補リストに基づき、継続的に調査及び新規指定を実現していくとともに、新たな文化財認定制度を創設し地域の文化財を幅広く保護する仕組みを作る。新たな収蔵展示施設の確保に努めるほか、デジタル技術の活用など様々な方法により文化財を市民に公開する。

評価シート 5-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	文化財の展示活用の推進
担当課	社会教育課
関係する事業名	【A】文化財保護事業 【B】池子遺跡群保護事業
実施内容	<p>目的：【A】文化財の保存及び公開活用等を行う。 【B】市民が地元の歴史に触れることができるよう、出土資料の公開活用を図る。</p> <p>手段：【A】指定文化財の維持管理及び、所有・管理者に対し必要な支援を行う。 【B】池子遺跡群発掘調査資料等を適切に保存・整理し展示公開する。</p> <p>実績：【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理奨励交付金の交付 R6年度 15件 R5年度 14件 ※R5年度に新規指定した1件が追加された。 ・文化財説明板製作設置 R6年度 1件 R5年度 1件 ※R5年度に新規指定した仏涅槃図の説明板を設置した。 <p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者数 R6年度 1,673人（開館309日） R5年度 1,451人（開館308日）

取り組み②	史跡の公開活用
担当課	社会教育課
関係する事業名	【A】名越切通維持管理事業 【B】名越切通整備事業 【C】長柄桜山古墳群整備事業
実施内容	<p>目的：【A】史跡名越切通の保存活用を図る。 【B】史跡名越切通を整備する。 【C】史跡長柄桜山古墳群を保存整備する。</p> <p>手段：【A】指定地を適切に維持管理し公開する。 【B】整備実施計画に基づき保存工事を行う。</p>

評価シート 5-1

	<p>【C】整備実施計画に基づき整備工事を行うほか、指定地を適切に維持管理する。</p> <p>実績：【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんだら堂やぐら群限定公開 R6年度 入場者 7,277人 寄附金 361,472円 R5年度 入場者 5,429人 寄附金 243,127円 ・維持管理作業（除草、樹木伐採等） <p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんだら堂やぐら群保存工事（B群N.65～67） <p>※整備事業はR10年度までの予定。</p> <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号墳整備工事（園路広場工） ・整備事業報告書の作成 ・整備工事完成記念イベントの開催 オープニングセレモニー(4/20) 参加者約180人 記念講演会(12/21) 参加者410人 ・維持管理作業（除草等）
--	---

取り組み③	未指定文化財の調査（文化財の新規指定及び積極的な公開活用）
担当課	社会教育課
関係する事業名	【A】文化財保護委員会経費 【B】文化財保護事業
実施内容	<p>目的：【A】専門的な考察に基づいて文化財保護政策を推進する。</p> <p>【B】文化財の保存及び公開活用等を行う。</p> <p>手段：【A】 諮問等を通じて学識者の意見を聴取する。</p> <p>【B】未指定文化財について資料を収集する。</p> <p>実績：【A】指定候補物件の調査及び指定 1件（木造十一面観音菩薩坐像）</p> <p>【B】市民等からの照会・情報提供等に応じて、文化財の現況把握等を実施（3～4件）。</p>

評価シート 5-1

6 誰もが心豊かに子育て・子育ちできるまち

(基本構想の取り組みの方向)

急速な少子化の進行や、家庭や地域を取り巻く環境の変化、地域とのつながりの希薄化の中で、心豊かに子育てをするためには、子育てに対する不安や孤立感を減らし、子育ての喜びを実感できることが必要です。子育てを親が主体的に行えるよう、まち全体で子育てを応援し、住み慣れた地域で安心して子どもを生み育てることのできる総合的な支援体制の充実をめざします。

さらに、家庭環境や雇用形態の多様化などを踏まえ、家庭と地域や学校等が相互に協力し、まちを生かした豊かな遊びと学びの環境を整え、すべての子どもがその権利を擁護され、愛され信頼されることを通じて、次世代を担う子どもたちが、心身共にたくましく生きる力と豊かな人間関係を培うことができるよう、地域と共に子育て・子育ちできるまちづくりをめざします。

— 逗子市総合計画（2015～2038）から抜粋 —

評価シート 6-1

令和6年度の点検・評価

【担当課：子育て支援課】

具体的施策								
妊娠前からの子育ての相談・支援の充実								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
保健師及び助産師が、乳児がいるすべての家庭を訪問し、相談に応じている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		100	100	100	100	100	100	100
実績	92	94.87	96.52					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①乳幼児健診等の充実 ②妊婦健診の充実 ③産後ケア事業による支援 ④妊産婦・乳児訪問等の実施 ⑤パパママ準備クラス（母親両親教室）の充実 ⑥不妊治療、不育症治療に係る助成 ⑦思春期から妊娠適齢期の健康相談、健康教育等の実施								

自己評価 (工夫している点、課題等)	概ね順調であるとみなせる。 出生届出時に産婦・乳児訪問の案内をしている。産婦・乳児訪問未実施の理由としては、訪問日程調整のための連絡がつながらなかつたことや長期里帰り中で訪問の希望が無かつたこと等が挙げられる。
外部有識者の意見	子ども・子育て会議において令和6年度の事業報告を実施。実施率の高さに評価あり。訪問が当然のことになっていることが素晴らしい。専門職の訪問に加え、主任児童委員の実施するえがおサポート訪問の実施率も伸びる様な声掛けをし、子育て世帯の孤立予防に努める。
今後の取り組みの方向性	・他部署・他機関との連携を強化し、えがおサポート訪問の実施率も伸びるような働きかけをする。 ・子育て情報を1冊にまとめた子育てガイドの作成・配付を継続する。

評価シート 6-1

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	乳幼児健診等の充実																																										
担当課	子育て支援課																																										
関係する事業名	乳幼児健診事業																																										
実施内容	<p>目的：乳幼児の心身の健康の確認、疾病や障がいを早期に発見し、早期治療及び早期療育を実現する。また、健かな乳幼児に対しても子育て支援を行い、知識の普及と親の不安の解消を図る。</p> <p>手段：成長・発達の確認、疾病の早期発見、育児不安の軽減を目的とし、Key age(キーエイジ)に、問診、計測、診察、個別相談を実施する。</p> <p>基本のスタッフは医師、看護師、保健師。母乳・授乳時期には助産師、離乳食が始まる時期からは管理栄養士を追加。お誕生日前健診は、歯科衛生士による歯の話を対象者全員へ実施。1歳6か月児健診・3歳児健診からは、歯科医師、歯科衛生士を追加し歯科健診・相談を実施。また、発達相談のため公認心理師（臨床心理士）を増やして実施する。</p> <p>実績：</p> <table> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="3">令和6年度</th> <th colspan="3">令和5年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>対象児数</th> <th>受診児数</th> <th>%</th> <th>対象児数</th> <th>受診児数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4か月児健診</td> <td>239人</td> <td>234人</td> <td>97.9%</td> <td>270人</td> <td>258人</td> <td>95.6%</td> </tr> <tr> <td>お誕生日前健診</td> <td>256人</td> <td>250人</td> <td>97.7%</td> <td>332人</td> <td>322人</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児健診</td> <td>296人</td> <td>277人</td> <td>93.6%</td> <td>342人</td> <td>319人</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>355人</td> <td>349人</td> <td>98.3%</td> <td>326人</td> <td>328人</td> <td>100.6%</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度			令和5年度				対象児数	受診児数	%	対象児数	受診児数	%	4か月児健診	239人	234人	97.9%	270人	258人	95.6%	お誕生日前健診	256人	250人	97.7%	332人	322人	97.0%	1歳6か月児健診	296人	277人	93.6%	342人	319人	93.3%	3歳児健診	355人	349人	98.3%	326人	328人	100.6%
	令和6年度			令和5年度																																							
	対象児数	受診児数	%	対象児数	受診児数	%																																					
4か月児健診	239人	234人	97.9%	270人	258人	95.6%																																					
お誕生日前健診	256人	250人	97.7%	332人	322人	97.0%																																					
1歳6か月児健診	296人	277人	93.6%	342人	319人	93.3%																																					
3歳児健診	355人	349人	98.3%	326人	328人	100.6%																																					

取り組み②	妊婦健診の充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	妊産婦健診事業

評価シート 6-1

実施内容	目的：妊産婦の健康管理の強化徹底を図り、妊婦、乳児の死亡率の低下、流産・死産の防止及び心身の障がいを予防する。
	手段：医療機関や助産院に委託し、妊婦健康診査・産後健康診査を実施する。
	実績： 令和6年度 令和5年度 妊婦健康診査受診者数 3,521人 3,695人

取り組み③	産後ケア事業による支援
	担当課 子育て支援課
	関係する事業名 妊産婦健診事業
	目的：心身のケアや育児サポート等を行い、産後安心して子育てができるよう支援する。 手段：医療機関や助産院に委託し、産後1年未満の産婦とその子を対象に、宿泊型、通所型及び訪問型のサービスを実施し、産婦の健康管理及び生活指導、乳房ケア・授乳指導、乳児の発育・発達観察、家庭に戻ってからの子育てや生活の相談・指導等を行う。 実績：令和6年度 宿泊型（実）41人（通算141日） 通所型（実）20人（通算20日） 訪問型（実）13人（通算14日） 令和5年度 宿泊型（実）17人（通算78日） 通所型（実）8人（通算15日） 訪問型（実）5人（通算10日）

取り組み④	妊産婦・乳児訪問等の実施
	担当課 子育て支援課
	関係する事業名 妊産婦・乳児訪問等事業

評価シート 6-1

実施内容	<p>目的：母子が必要としている援助を行うとともに、育児不安の解消、適切な育児、子どもの発達や養育環境の観察を行う。</p> <p>手段：妊婦訪問及び「こんにちは赤ちゃん訪問事業」として、未熟児を含めた乳児の全戸訪問を行い、保健師・助産師による産婦、乳児、その家族等に対し、訪問指導を実施する（妊娠期からのハイリスク妊婦、面談を希望する妊婦等に妊婦訪問も実施）。</p> <table border="0"> <tr> <td>実績：</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr> <td>対象児</td><td>230人</td><td>273人</td></tr> <tr> <td>訪問実施</td><td>222人</td><td>259人</td></tr> <tr> <td>実施率</td><td>96.52%</td><td>94.87%</td></tr> </table>	実績：	令和6年度	令和5年度	対象児	230人	273人	訪問実施	222人	259人	実施率	96.52%	94.87%
実績：	令和6年度	令和5年度											
対象児	230人	273人											
訪問実施	222人	259人											
実施率	96.52%	94.87%											

取り組み⑤	パパママ準備クラス（母親両親教室）の充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	妊産婦・乳幼児教室事業
実施内容	<p>目的：妊娠・出産・育児についての知識の普及を図り、親が共に育児を行う大切さを伝えるとともに、妊娠期からの仲間づくりの支援を行う。</p> <p>手段：FirstStep（妊娠中の不安を減らそう（助産師の講義、マタニティストレッチ他)）、SecondStep（親となる準備をはじめよう（公認心理師からの講義、沐浴実習他)）、ThirdStep（出産に向けた準備と確認、才ムツ交換・ミルク・抱っこ等の実習)、FourthStep（産後の教室）に分けてパパママ準備クラスを開催する。</p> <p>実績： 令和6年度 FirstStep、SecondStep、ThirdStep 各4回ずつ計12回 FourthStep 2回/年実施 参加者数：妊婦・夫他（延べ数）203人 令和5年度（4年度からの内容見直し) FirstStep、SecondStep 各4回ずつ計8回 参加者数：妊婦・夫他（延べ数）89人 令和5年度から参加者のニーズに合わせて、集団での対応から個別で対応できる内容に変更した。</p>

評価シート 6-1

取り組み⑥	不妊治療、不育症治療に係る助成												
担当課	子育て支援課												
関係する事業名	特定不妊治療費等助成事業												
実施内容	<p>目的：妊娠を望む夫婦の経済的な軽減を図る。</p> <p>手段：生殖補助医療（体外受精・顕微授精・男性不妊）の治療に要した費用の一部を助成する。</p> <table> <tr> <td>実績：申請件数</td> <td>令和6年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>特定不妊治療費助成</td> <td>—</td> <td>3件（4年度治療分。4年度で廃止。）</td> </tr> <tr> <td>生殖補助医療費助成</td> <td>34件</td> <td>34件（5年度から実施）</td> </tr> <tr> <td>不育症医療費助成事業</td> <td>0件</td> <td>0件（5年度から実施）</td> </tr> </table>	実績：申請件数	令和6年度	令和5年度	特定不妊治療費助成	—	3件（4年度治療分。4年度で廃止。）	生殖補助医療費助成	34件	34件（5年度から実施）	不育症医療費助成事業	0件	0件（5年度から実施）
実績：申請件数	令和6年度	令和5年度											
特定不妊治療費助成	—	3件（4年度治療分。4年度で廃止。）											
生殖補助医療費助成	34件	34件（5年度から実施）											
不育症医療費助成事業	0件	0件（5年度から実施）											

取り組み⑦	思春期から妊娠適齢期の健康相談、健康教育等の実施
担当課	子育て支援課
関係する事業名	—
実施内容	<p>目的：将来の妊娠や体の変化に備えて自らライフプランを考えられるように支援する。</p> <p>手段：保健師による健康相談の一環として、思春期から妊娠適齢期の健康相談、健康教育等に対応する。</p> <p>実績：相談の中で、対象となる相談者に隨時アドバイスを行う他、ホームページ「妊娠・出産を望まれる方へ」の情報リンクの整備、思春期保健（健康教育）に関わる情報収集を行っている。</p> <p>件数未把握</p>

評価シート 6-1

評価シート 6-2

令和6年度の点検・評価

【担当課：子育て支援課】

具体的施策								
子育てを支える取り組みの推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
ファミリー・サポート・センター*に登録している支援会員（両方会員を含む）の登録人数が550人になっている。								
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		440	460	480	500	520	540	550
実績	442	415	423					
具体的施策を構成する主な取り組み								
<p>①子育て情報提供の充実 ②ファミリー・サポート・センター事業の充実 ③保育所、幼稚園等による相談、一時預かり等の支援の充実 ④放課後児童への対応の充実（放課後児童クラブ） ⑤放課後児童への対応の充実（ふれあいスクール） ⑥病児・病後児保育の充実 ⑦親子遊びの場の運営 ⑧ほっとスペース、自然の遊び場（プレイパーク等）の運営 ⑨子育てに係る相談の充実 ⑩子育て支援センターの運営 ⑪ひとり親家庭等への継続的な支援 ⑫支援を必要とする子どもに対する学習支援 ⑬子どもの貧困に関する取り組み ⑭小児医療費に係る助成の充実 ⑮要保護児童に対する取り組み ⑯居場所づくりへの支援</p>								

評価シート 6-2

自己評価 (工夫している点、課題等)	<p>昨年度からの課題について、課題1つ目として連続した日程の解消があった。支援会員になるためには研修を全て受講する必要があるため、連続した日程だと休みがとれず参加できないとの声が多くかった。そのため令和6年度は、連続で6日間にならないように開催をした。</p> <p>課題2つ目として開催場所へのアクセスの改善があった。以前は体験学習施設スマイルで開催していたが、令和6年度は第1回第2回共に市役所会議室で行った。しかし開催形態以前の問題で、受講者数の確保に課題があり、これらの変更は受講者数には影響していない。</p> <p>良かった点としては、託児場所について市役所会議室から子育て支援センターでの開催に変えたことが、受講後のアンケートで好評だった。会議室での開催よりも託児の環境が整っていて安心できるとの声、また無料で託児を利用できることを評価する声があったため、今年度も市役所での開催であれば継続する予定。</p>
外部有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポーターが増えないことで、研修方法の検討がされているが、質の問題となる。今の風潮で、いろいろな責任問題があるなか、センターさんの質の向上と負担減も課題でないかと考える。制度上の制約があるのかもしれないが、謝礼についても再考の余地があるのでとも考える。 ファミリーサポート支援会員です。若いママの支援が出来て、私は、生きがいを感じています。このような声をもっと、アピールしていくべきかと考えます。
今後の取り組みの方向性	<p>受講者が増えない原因として、周知不足と、研修期間の長さが考えられる。</p> <p>周知方法として、現在は広報誌、広報板、チラシでの周知を行っているが、メルマガへの掲載等、新たな周知方法をとる。またアンケートの声として、いつでも見られるようにオンラインが一部あるとよい、昼をまたがない時間帯がよいなど、受講期間の長さに対しての意見があった。そのため、講座時間を工夫する、またオンラインで受講・復習ができるようにするなどの新たなアプローチをとる。</p>

評価シート 6-2

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	子育て情報提供の充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	一
実施内容	<p>目的：子育てに関係する情報の一元化、総合化を行い、子育て情報の提供を充実させる。</p> <p>手段：ポータルサイトえがおの運営</p> <p>実績：レイアウトを見やすく改変した。</p> <p>ポータルサイトえがおアクセス数</p> <p>令和6年 8,010 件</p> <p>令和5年 11,523 件</p>

取り組み②	ファミリー・サポート・センター事業の充実																
担当課	子育て支援課																
関係する事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業																
実施内容	<p>目的：安心して子育てができる環境を整える。</p> <p>手段：事業者への委託により、子育てについて、地域の人たちがお互いに助け合っていくことをめざして子どもの預かりを行う相互援助活動の仲介、及び支援を行う会員の育成を行う。</p> <p>実績：</p> <table> <tr> <td>令和6年度 依頼会員</td> <td>1,310 人</td> </tr> <tr> <td>支援会員</td> <td>231 人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>192 人</td> </tr> <tr> <td>活動件数</td> <td>1,683 件</td> </tr> </table> <table> <tr> <td>令和5年度 依頼会員</td> <td>1,285 人</td> </tr> <tr> <td>支援会員</td> <td>230 人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>185 人</td> </tr> <tr> <td>活動件数</td> <td>2,400 件</td> </tr> </table>	令和6年度 依頼会員	1,310 人	支援会員	231 人	両方会員	192 人	活動件数	1,683 件	令和5年度 依頼会員	1,285 人	支援会員	230 人	両方会員	185 人	活動件数	2,400 件
令和6年度 依頼会員	1,310 人																
支援会員	231 人																
両方会員	192 人																
活動件数	1,683 件																
令和5年度 依頼会員	1,285 人																
支援会員	230 人																
両方会員	185 人																
活動件数	2,400 件																

評価シート 6-2

取り組み③	保育所、幼稚園等による相談、一時預かり等の支援の充実
担当課	保育課
関係する 事業名	(1) 地域育児強化事業 (2) 一時預かり事業
実施内容	<p>(1) 地域育児強化事業 目的：民間保育所の専門的機能を活用した地域育児強化事業の推進を図る。 手段：民間保育所が行う各種事業（在宅育児支援事業、相談機能強化事業、地域家庭登録型支援事業、三世代交流型支援事業）に対して補助を行う。 実績： 双葉保育園 400,000 円 沼間愛児園 360,000 円 桜山保育園 240,000 円 逗子なないろ保育園 399,000 円</p> <p>(2) 一時預かり事業 目的：国の一時預かり事業実施要綱に基づき、保育所等において、児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備する。 手段：保育所等が行う一時預かり事業に対して補助を行う。 実績： • 一般型 11,332,000 円 4園（令和5年度4園） • 幼稚園型Ⅰ 15,052,000 円 6園（令和5年度4園） 横須賀幼稚園と御国幼稚園が新制度の幼稚園に移行したため、幼稚園型Ⅰが2園増加している。</p>

取り組み④	放課後児童への対応の充実（放課後児童クラブ）
担当課	保育課
関係する 事業名	放課後児童クラブ事業

評価シート 6-2

実施内容	目的：保護者が就労等により自宅にいない家庭の小学生を対象に、放課後の生活の場を提供する。 手段：指定管理制度等により事業を実施する。 実績： <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ指定管理料 逗子小学校区放課後児童クラブ 18,974,221 円 沼間小学校区放課後児童クラブ 23,392,583 円 久木小学校区放課後児童クラブ 21,479,766 円 小坪小学校区放課後児童クラブ 13,173,177 円 池子小学校区放課後児童クラブ 12,920,893 円 																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">5/1 時点</th> <th style="text-align: left;">令和 6 年度</th> <th style="text-align: left;">令和 5 年度</th> <th style="text-align: left;">増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逗子小</td> <td>111 人</td> <td>102 人</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>沼間小</td> <td>91 人</td> <td>87 人</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>久木小</td> <td>110 人</td> <td>92 人</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>小坪小</td> <td>57 人</td> <td>56 人</td> <td>1 人</td> </tr> <tr> <td>池子小</td> <td>55 人</td> <td>50 人</td> <td>5 人</td> </tr> <tr> <td>補助型</td> <td>16 人</td> <td>25 人</td> <td>△9 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・補助型放課後児童クラブ運営費補助金 10,681,000 円 ・放課後児童支援員等処遇改善事業 4,981,900 円 <p>令和 6 年 5 月 1 日時点の待機児童数は 0 名となっている。</p>	5/1 時点	令和 6 年度	令和 5 年度	増減	逗子小	111 人	102 人	9 人	沼間小	91 人	87 人	4 人	久木小	110 人	92 人	18 人	小坪小	57 人	56 人	1 人	池子小	55 人	50 人	5 人	補助型	16 人	25 人
5/1 時点	令和 6 年度	令和 5 年度	増減																									
逗子小	111 人	102 人	9 人																									
沼間小	91 人	87 人	4 人																									
久木小	110 人	92 人	18 人																									
小坪小	57 人	56 人	1 人																									
池子小	55 人	50 人	5 人																									
補助型	16 人	25 人	△9 人																									

取り組み⑤	放課後児童への対応の充実（ふれあいスクール）
担当課	子育て支援課
関係する事業名	ふれあいスクール事業
実施内容	<p>目的：家庭・地域・学校の連携のもとに、小学生の放課後の居場所、遊び場及び異年齢交流の場を確保する。 手段：ふれあいスクールの開設 実績：（カッコ内は前年実績） ◎開所日数<ul style="list-style-type: none"> ・逗子小：234 日（233 日）、久木小：216 日（209 日）、小坪小：230 日（227 日）、沼間小：216 日（217 日） </p>

評価シート 6-2

	<p>日)、池子小：220 日 (224 日)</p> <p>◎延べ利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逗子小ふれスク 19,824 人 (20,988 人) ・久木小ふれスク 14,853 人 (15,065 人) ・小坪小ふれスク 7,917 人 (8,711 人) ・沼間小ふれスク 12,545 人 (8,191 人) ・池子小ふれスク 6,278 人 (7,271 人) ・計 61,417 人 (60,226 人) <p>各小学校の空き教室を活用し、放課後の児童の居場所として多くの児童に利用されていることから、事業としては充実しているものと考える。</p>
--	--

取り組み⑥	病児・病後児保育の充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	ファミリーサポートセンター運営事業
実施内容	<p>目的：安心して子育てができる環境を整える。</p> <p>手段：事業者に委託する相互援助活動として行うファミリーサポート運営事業の中で、病児・病後児預かりを実施する。</p> <p>実績：未実施</p> <p>令和6年度：病後児保育の再開を目指し検討した。</p> <p>令和5年度：支援会員の新型コロナウィルス感染に対する慎重な姿勢により中止を継続した。今後はファミリーサポートセンター運営事業以外の事業として逗葉医師会の協力を得て対策を検討していく。</p>

取り組み⑦	親子遊びの場の運営
担当課	子育て支援課
関係する事業名	親子遊びの場運営事業

評価シート 6-2

実施内容	<p>目的：親子遊びの場など親子が自由に利用でき、集える場を確保する。</p> <p>手段：親子遊びイベント、親子遊びの場の開設。</p> <p>実績：（カッコ内は前年実績）</p> <p>◎親子遊びの場（プレイルーム）を市内3か所（沼間、小坪、池子）に設置し、育児サークル等に場所を貸す、貸しスペース事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸し出し実績 小坪0件（0件）、池子3件（3件） ※沼間の貸しスペース事業は令和5年度にて終了。 ・親子ひろば 令和6年度参加者 140 人（199 人） ・育児サークル等の減少により、プレイルームを使用する団体は少なかった。 ・乳幼児とその保護者を対象とした親子ひろばを開催し、利用者間の交流を図ることができた。 <p>◎ボーネルンド親子遊びイベントを3回実施した。</p> <p>第1回 289 人 第2回 250 人 第3回 256 人 ※体験学習施設スポーツルームにて開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子遊びイベントについては、大型遊具を活用し、親子での情操を養い、子どもの健全な発育の支援につなげることを目的とした遊びができる場を提供した。昨年課題となった暑さ対策として、今年度は室内で開催した。参加者も多く、イベントは好評であった。
------	--

取り組み⑧	ほっとスペース、自然の遊び場（プレイパーク等）の運営
担当課	子育て支援課
関係する事業名	ふれあいスクール事業

評価シート 6-2

実施内容	<p>目的：家庭・地域・学校の連携のもとに、小学生の放課後の居場所、遊び場及び異年齢交流の場を確保する 手段：ほっとスペースの開設 実績：(カッコ内は前年実績) ◎ほっとスペース開設日数 逗子 74 日(74 日)、久木 59 日(22 日)、小坪 136 日(135 日)、沼間 143 日(144 日)、池子 286 日(293 日) ◎延べ利用者数 逗子 650 人(909 人)、久木 332 人(168 人)、 小坪 164 人(336 人)、沼間 475 人(976 人)、 池子 12,216 人(14,513 人)、計 13,837 人 (16,902 人) • ほっとスペースを開設することで乳幼児とその保護者間の交流を図ることができたが、暑さの影響もあって利用人数が減少した。 ※自然の遊び場運営事業は令和4年度から事業廃止。 </p>
------	---

取り組み⑨	子育てに係る相談の充実									
担当課	子育て支援課									
関係する事業名	逗子市こども家庭センター									
実施内容	<p>目的：児童虐待に対する早期発見と虐待予防を行う。 手段：逗子市要保護児童援助ネットワーク会議を中心に、 関係機関が有機的に連携し、ケアが必要な児童の保 護、保護者支援等、子どもの立場に立った支援体制の 充実を図る。</p> <table> <tr> <td data-bbox="466 1635 917 1671">実績：</td> <td data-bbox="917 1635 1092 1671">令和6年度</td> <td data-bbox="1092 1635 1267 1671">令和5年度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1680 727 1715">要保護児童実数</td> <td data-bbox="917 1680 1013 1715">144人</td> <td data-bbox="1092 1680 1219 1715">108人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="466 1724 663 1760">こども相談</td> <td data-bbox="917 1724 1044 1760">203人</td> <td data-bbox="1092 1724 1219 1760">191人</td> </tr> </table>	実績：	令和6年度	令和5年度	要保護児童実数	144人	108人	こども相談	203人	191人
実績：	令和6年度	令和5年度								
要保護児童実数	144人	108人								
こども相談	203人	191人								

取り組み⑩	子育て支援センターの運営
担当課	子育て支援課

評価シート 6-2

関係する事業名	子育て支援センター運営事業																		
実施内容	<p>目的：市民に対する子育て支援を積極的に推進する。</p> <p>手段：事業者への委託により、育児不安等についての相談事業、育児サークル等の育成・支援、子育て中の親たちの自主活動を支援する。</p> <p>実績：</p> <p>令和 6 年度</p> <table> <tr> <td>子育て支援センター利用者数</td> <td>4,203 組</td> <td>8,992 人</td> </tr> <tr> <td>小坪巡回相談利用者数</td> <td>89 組</td> <td>195 人</td> </tr> <tr> <td>沼間巡回相談利用者数</td> <td>118 組</td> <td>248 人</td> </tr> </table> <p>令和 5 年度</p> <table> <tr> <td>子育て支援センター利用者数</td> <td>3,893 組</td> <td>8,368 人</td> </tr> <tr> <td>小坪巡回相談利用者数</td> <td>87 組</td> <td>186 人</td> </tr> <tr> <td>沼間巡回相談利用者数</td> <td>203 組</td> <td>464 人</td> </tr> </table>	子育て支援センター利用者数	4,203 組	8,992 人	小坪巡回相談利用者数	89 組	195 人	沼間巡回相談利用者数	118 組	248 人	子育て支援センター利用者数	3,893 組	8,368 人	小坪巡回相談利用者数	87 組	186 人	沼間巡回相談利用者数	203 組	464 人
子育て支援センター利用者数	4,203 組	8,992 人																	
小坪巡回相談利用者数	89 組	195 人																	
沼間巡回相談利用者数	118 組	248 人																	
子育て支援センター利用者数	3,893 組	8,368 人																	
小坪巡回相談利用者数	87 組	186 人																	
沼間巡回相談利用者数	203 組	464 人																	

取り組み⑪	ひとり親家庭等への継続的な支援				
担当課	子育て支援課				
関係する事業名	ひとり親家庭等福祉手当支給事業				
実施内容	<p>目的：ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援する。</p> <p>手段：ひとり親家庭等に月額 6,000 円の手当を支給する。</p> <p>実績： 対象世帯</p> <table> <tr> <td>令和 6 年度</td> <td>159 世帯（令和 7 年 3 月支払い実績件数）</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度</td> <td>143 世帯（令和 6 年 3 月支払い実績件数）</td> </tr> </table>	令和 6 年度	159 世帯（令和 7 年 3 月支払い実績件数）	令和 5 年度	143 世帯（令和 6 年 3 月支払い実績件数）
令和 6 年度	159 世帯（令和 7 年 3 月支払い実績件数）				
令和 5 年度	143 世帯（令和 6 年 3 月支払い実績件数）				

取り組み⑫	支援を必要とする子どもに対する学習支援
担当課	子育て支援課
関係する事業名	逗子市こども家庭センター

評価シート 6-2

実施内容	<p>目的：子どもが環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備し、教育の機会均等を図る</p> <p>手段：ひとり親家庭相談員と子ども相談員、福祉部社会福祉課、社会福祉協議会等が連携し、家庭状況を把握することに加え、逗子市要保護児童援助ネットワーク会議において情報を収集し、教育・福祉・その他関係機関と連携し課題解決に取り組む。</p> <table border="0"> <tr> <td>実績：</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr> <td>要保護児童実数</td><td>144人</td><td>108人</td></tr> <tr> <td>子ども相談</td><td>203人</td><td>191人</td></tr> </table>	実績：	令和6年度	令和5年度	要保護児童実数	144人	108人	子ども相談	203人	191人
実績：	令和6年度	令和5年度								
要保護児童実数	144人	108人								
子ども相談	203人	191人								

取り組み⑬	子どもの貧困に関する取り組み									
担当課	子育て支援課									
関係する事業名	逗子市こども家庭センター									
実施内容	<p>目的：子どもが環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備し、教育の機会均等を図る</p> <p>手段：ひとり親家庭相談員と子ども相談員、福祉部社会福祉課、社会福祉協議会等が連携し、家庭状況を把握することに加え、逗子市要保護児童援助ネットワーク会議において情報を収集し、教育・福祉・その他関係機関と連携し課題解決に取り組む。</p> <table border="0"> <tr> <td>実績：</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr> <td>要保護児童実数</td><td>144人</td><td>108人</td></tr> <tr> <td>子ども相談</td><td>203人</td><td>191人</td></tr> </table>	実績：	令和6年度	令和5年度	要保護児童実数	144人	108人	子ども相談	203人	191人
実績：	令和6年度	令和5年度								
要保護児童実数	144人	108人								
子ども相談	203人	191人								

取り組み⑭	小児医療費に係る助成の充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	小児医療費助成事業

評価シート 6-2

実施内容	目的：小児の健康の増進を図り、健全な育成を支援する 手段：小児に係る医療費のうち健康保険の自己負担分を給付する。 令和5年度から、対象を15歳の誕生日後の最初の3月31日までから18歳の誕生日後の最初の3月31日までに引き上げ、また所得制限を撤廃して対象を拡大している。 実績： 令和6年度 医療証対象者数 7,799件（令和6年度末） 助成額 243,880,825円（年間支出額） 令和5年度 医療証対象者数 7,959件（令和5年度末） 助成額 223,776,179円（年間支出額）

取り組み⑯	要保護児童に対する取り組み
担当課	子育て支援課
関係する事業名	逗子市こども家庭センター
実施内容	目的：児童虐待の防止と予防を行う。 手段：児童及び妊産婦の実情の把握、必要な情報の提供、家庭その他からの相談に応じ、必要な調査及び指導を行う。 実績： 要保護児童実数 144人 108人 こども相談 203人 191人

取り組み⑯	居場所づくりへの支援
担当課	子育て支援課・療育教育総合センター
関係する事業名	—（子育て支援課） 療育推進事業（療育教育総合センター）

評価シート 6-2

実施内容	<p>(子育て支援課)</p> <p>目的 :</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちや保護者などが安心して過ごすことができる場所の提供および居場所づくりを取り組む市民団体への支援。 <p>手段 :</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちや保護者などが、身近な地域で気軽に集まり、おしゃべりをするなど自由にくつろぎ、安心して過ごせる居場所づくりをサポートする。・子どもたちや保護者などの居場所づくりに取り組んでいる民間団体を支援し連携を図る。 <p>実績 :</p> <ul style="list-style-type: none">・フリースクールや子育て支援団体に対して、スマイルの各施設を無償で優先的に貸し出しを行った。・団体等に対し、定期的に施設を提供したことで、子どもの居場所が提供できしたこと及び保護者間の交流が図れた。 <p>(療育教育総合センター)</p> <p>目的 :</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちや保護者などが、身近な地域で気軽に集まり、おしゃべりをするなど自由にくつろぎ、安心して過ごせる居場所づくりをサポートする。・子どもたちや保護者などの居場所づくりに取り組んでいる民間団体を支援し連携を図る。 <p>手段 :</p> <p>【子ども発達支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの育ちに関する療育相談をはじめ、児童精神科の医師による講座や、センターで行う勉強会等を開催し、子育ての不安や悩み等を相談できる場を提供する。 <p>【教育研究相談センター】</p> <ul style="list-style-type: none">・登校困難な子どもたちの多様な学習の場として教育支援センター通称「なぎさ」(旧適応指導教室)を運営する。
------	--

	<p>実績：</p> <p>【こども発達支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none">・経過観察グループ時の保護者プログラム、難聴児を持つ保護者の集まり、就学に向けた家族勉強会を実施し、専門スタッフが保護者からの相談に応じたり、保護者同士で情報共有をできることで、一人で不安や悩みを抱えずに過ごせる場を提供した。・ひなたサロンを定期開催することで、センター利用者が交流できる場を提供した。 <p>・市民向け公開講座 (7月 17 日／対面：13 名、オンライン 28 名参加)</p> <p>・経過観察時の保護者プログラム (延べ 48 回)</p> <p>・難聴児を持つ保護者の集まり (令和6年8月2日／7名参加) (令和7年3月28日／5名参加)</p> <p>・就学に向けた家族勉強会 (延べ3回／27名)</p> <p>【教育研究相談センター】</p> <ul style="list-style-type: none">・教育支援センター通称「なぎさ」(旧適応指導教室) 延べ通室児童・生徒数 616 名 (+219 名) 体験 89 名 (+21 名) ※ () は前年比・令和5年度から、「なぎさ」への通室ルートに、巡回 SC 及び県費 SC とのカウンセリングを経て、校内支援会議で検討して、受入れを可能とする体制を緩和したことにより人数が増加した。
--	--

評価シート 6-3

令和6年度の点検・評価

【担当課：保育課】

具体的施策								
幅広い保育ニーズに対応できる体制づくり								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
保育所等の入所待機児童が0人になっている。								
目標	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		0人						
実績	13人	11人	6人					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①保育の充実と選択肢の拡大（子ども・子育て支援新制度の円滑運用） ②保育士確保の取り組み ③様々な保育ニーズへの対応（保育環境の充実） ④幼稚園就園等に係る支援								

自己評価 (工夫している点、課題等)	保育所等利用者支援員による適切な情報提供等もあり、待機児童数は前年度より減少した。
外部有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保は他市との取り合いになってしまっている。保育士確保により一層力を入れるべき。そのためには確保補助金の増額だけでなく、他市のように保育者の待遇改善を行うべき。保育者不足の為の待機児が増加すると考える。 他市との間で、子育て世代というより子ども世代の市民の取り合いになっている。市政の中で、子育て施策に最も重点を置くべき。 安全性と地域の安心を軸としつつ、認知拡大・多様化への対応が求められると思う。

評価シート 6-3

今後の取り組みの方向性	待機児童がいる一方で、希望入所先と年齢が合わないことから、空きのある保育所等もでてしまい、保育需要と供給のミスマッチが起きている。 引き続き、市内全域で情報共有と連携を強化していく。
-------------	--

評価シート 6-3

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	保育の充実と選択肢の拡大(子ども・子育て支援新制度の円滑運用)
担当課	保育課
関係する事業名	利用者支援事業
実施内容	<p>目的: 1人ひとりの子どもが健やかに成長することができる地域社会の実現に寄与するため、子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、多様な教育・保育施設等を円滑に利用できるよう必要な支援を行う。</p> <p>手段: 保育所等利用者支援員の配置 2名</p> <p>実績: 保育所等利用者支援員報酬及び手当 5,137,411 円</p>

取り組み②	保育士確保の取り組み
担当課	保育課
関係する事業名	民間保育所等運営支援事業
実施内容	<p>目的: 民間保育所等の運営費の一部を市単独事業として助成し、児童の健全育成を図る。</p> <p>手段: 民間保育所の保育士等の職員の確保に要した費用に對して補助を行う。</p> <p>実績: 民間保育所人材確保補助 3園 1,510,000 円</p>

取り組み③	様々な保育ニーズへの対応(保育環境の充実)
担当課	保育課
関係する事業名	(1) 地域育児強化事業 (2) 一時預かり事業

評価シート 6-3

実施内容	<p>(1) 地域育児強化事業</p> <p>目的：民間保育所の専門的機能を活用した地域育児強化事業の推進を図る。</p> <p>手段：民間保育所が行う各種事業（在宅育児支援事業、相談機能強化事業、地域家庭登録型支援事業、三世代交流型支援事業）に対して補助を行う。</p> <p>実績：</p> <p>双葉保育園 400,000 円</p> <p>沼間愛児園 360,000 円</p> <p>桜山保育園 240,000 円</p> <p>逗子なないろ保育園 399,000 円</p> <p>(2) 一時預かり事業</p> <p>目的：国の一時預かり事業実施要綱に基づき、保育所等において、児童を一時的に預かることで、安心して子育てできる環境を整備する。</p> <p>手段：保育所等が行う一時預かり事業に対して補助を行う。</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般型 11,332,000 円 4園（令和5年度4園） ・幼稚園型Ⅰ 15,052,000 円 6園（令和5年度4園） <p>横須賀幼稚園と御国幼稚園が新制度の幼稚園に移行したため、幼稚園型Ⅰが2園増加している。</p>

取り組み④	幼稚園就園等に係る支援
担当課	保育課
関係する事業名	幼児教育・保育無償化給付等事業
実施内容	<p>目的：私学助成幼稚園（満3歳以上）、認可外保育施設（3歳児クラスから5歳児クラス）等の利用児童の利用料、保育認定を受けた保護者が利用した幼稚園の預かり保育の利用料について市が助成し、保護者の負担軽減を図る。</p> <p>手段：幼児教育・保育の無償化による給付を実施する。</p> <p>実績：77,739,503 円</p>

評価シート 6-3

	令和 6 年度	令和 5 年度	増減
幼稚園（上限 25,700 円）	104 人	221 人	△117 人*
認可外及び一時預かり保育施設（上限 37,000 円）	112 人	106 人	6 人
預かり保育事業（1 日につき上限 450 円）	152 人	140 人	12 人

※令和 6 年度より、御国幼稚園が私学助成幼稚園から新制度の幼稚園に移行し、第二逗子幼稚園が閉園したため減少している。

評価シート 6-4

令和6年度の点検・評価

【担当課：子育て支援課】

具体的施策								
子どもたちの居場所づくりの推進								
重要業績評価指標（KPI）【2029年度】								
体験学習施設「スマイル」の主催講座の延べ参加者数が2,000人/年になっている。								
目標	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
目標		2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
実績	883	945	1239					
具体的施策を構成する主な取り組み								
①体験学習施設「スマイル」での講座やイベントの充実 ②青少年の健全な育成に係る事業の推進								

自己評価 (工夫している点、課題等)	2023年度と比較して、講座の延べ参加者数は増加したが、目標の人数には至らなかった。
外部有識者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標に全体的な来館状況を入れた方が具体的な施策に合うのではないか。 体験学習施設だけでなく、逗子の子どもたちの居場所はどこなのか調査又は検証したほうがよいのではないか。
今後の取り組みの方向性	2024年度は、前年度に比べ、参加者数が増加したが、目標には大きく届いていないため、引き続き子どもたちがより参加したいと思える講座を企画していく。

評価シート 6-4

令和6年度の主な取り組み内容

取り組み①	体験学習施設「スマイル」での講座やイベントの充実
担当課	子育て支援課
関係する事業名	体験学習施設講座等事業
実施内容	<p>目的：児童青少年の健全育成に資するため、今までに経験したことのない、また、興味をもってもらえるようなことについて体験する講座・イベントを開催する。</p> <p>手段：各講座やイベントの実施</p> <p>実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎主催イベント スマイルハロウィン <ul style="list-style-type: none"> ・10月27日(日)参加者数 約2,000人(令和5年度1,600人) ・チラシ、SNS等の情報発信により参加者が増加した。 ◎主催講座 <ul style="list-style-type: none"> ・52講座(令和5年度42講座)延べ参加者数1,239人(令和5年度945人) ・前年度と比較して、開催講座数を増やした結果、参加者は増加したが、目標の人数には至らなかった。

取り組み②	青少年の健全な育成に係る事業の推進
担当課	子育て支援課
関係する事業名	青少年問題協議会経費
実施内容	<p>目的：児童青少年の健全育成に資するため、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する各関係機関との連絡調整及び調査審議を行う。</p> <p>手段：青少年問題協議会の実施</p> <p>実績：</p> <p>内容：</p> <p>青少年問題協議会 全1回実施(令和5年度2回) 第1回 8月30日</p>

評価シート 6-4

	協議会を開催し、各関係機関と児童青少年の健全育成に関する情報を共有することができた。善行ほう賞の推薦者がいなかったため、協議会が1回のみの開催となった。
--	--

評価シート 6-4

7 教育委員会への意見及び助言

新型コロナウィルスがまん延する以前の状態に戻りつつも、コロナ禍において変容した新たな生活様式、市民に芽生えた新たな価値観のなかで、市民にとって有益と考えられる事業運営を行い、かつ事業の課題を見つけ、それを改善しようとする質的向上への努力の結果と判断した。

1. 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち

市民への生涯学習機会の提供は重要な事業の一つであるものの、市民のニーズに応えた生涯学習機会の提供は難しい。特に社会教育事業に関しては、市民の興味関心を引き付けるようなテーマが必要である。もちろん課題によって受講者の集客力が異なるため、受講者数のみで評価することは難しいことは理解している。自己評価においても課題点及び改善点を客観的に示しており、今後も市民のニーズに即した企画検討が期待できる。

図書館活動事業においては、昨年度よりも来館者数は増加しているものの、貸出者数及び貸出点数は減少している。これは展示やイベント、SNSなどの情報発信による効果であるといえよう。しかしながら貸出者数及び貸出点数は令和4年度より連續して減少している。もちろん、本を貸し出すことがすべてではないが、これまでと同様に市民の読書機会創出を努力していただきたい。ただし市民にとって図書館とは、図書を借るだけの場所とは限らず、多種多様な情報の接点であるため、幅広く市民のニーズを反映した図書館活動事業になることを期待する。

2. 文化を新たに創造するまち

令和5年度の文化活動振興事業である逗子アートフェスティバルは、3年に一度開催のトリエンナーレにあたる年でもあった。そのため、昨年度と比較する参加企画数や来場者数ともに減少しており、令和4年度同等である。また文化芸術活動の振興に係る事業の推進においては参加企画数が昨年度よりも増え、来場者数も増加していることは、イベントの認知度向上に努めた結果と評する。

逗子文化プラザホール自主文化事業については、いくつかの事業で、開催回数が減ったこともあるが、参加者数が減少しているものの、活動の目的である「文化創造体験の増大」は図られていると考

えられる。

3. スポーツを楽しむまち

スポーツ推進事業については、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率は 56.7%と目標値を下回っているものの、前年度の実施率よりも向上している。特に、逗子市スポーツ協会の自主事業であるうみかぜクラブにおいて、会員登録数及び参加者数の増加のため人気メニューの開催回数を増加させたところ、令和 5 年度よりも延べ開催回数及び会員登録数が増加しており、自己努力の成果が表れている。ただし、高齢者向けの体力アップ体操などシニア向け事業の参加人数の減少がいささか気になるところである。

逗子市スポーツの祭典については、天候に恵まれたこともあり、ほぼ予定通りに実施できたようで、今後も市民がスポーツに触れ合うきっかけづくりを継続していただきたい。

子どもを対象にしたスポーツ活動として実施されているジュニアスポーツ教室についても水泳のようにかなり参加者が増えた種目など、それぞれで若干の増減がみられるものの、市民のスポーツ振興の素地のために今後も継続すべき事業である。

4. 学校教育の充実したまち

まず、少人数指導教員・教育指導教員派遣事業において、小学校への派遣時間が令和 4 年度以降減少しているのに対して、中学校への派遣時間は昨年度とほぼ同数である。もちろん、適切に派遣されているとは思われる。ほか研修の充実や担当者会の充実など教職員の資質向上に関する事業が適切に実行されている。学校給食の安定的な提供においては、昨年度と比較して事業費が増額されているが、昨今の物価高のなかで致しかたないであろう。これは学校施設整備事業費にも関連するが、子供たちの安全・安心に学校教育が受けられるよう、適切な事業費執行を望みたい。

また子どもの発達段階に応じた継続的な支援に関する事業についても、数の増減のみを評価対象とするべきではないものの、実績値が上昇しているということは、必要な方々に適切に支援が行われていることを意味する。そのため今後も必要な方々が適切な支援を受けられるよう継続的な事業経営を期待したい。

地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進にお

いても、学校支援本部事業において、支援者の高齢化による持続可能性について課題が浮き彫りになっている。すぐに解決できる問題ではないが、地域教育力向上のためにも方策が求められる。

5. ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち

文化財の展示活用の推進をはじめとして、史跡の公開、未指定文化財の調査が適切に実施されている。特に池子遺跡群保護事業においては、開館数がほぼ前年度と同じにもかかわらず来館者数が増加していること、まんだら堂やぐら群限定公開においても入場者が前年度よりも増加していることは、市民にとって財産であるふるさとの遺産について、適切に触れ合える機会を醸成できている成果といえよう。

6. 誰もが心豊かに子育て・子育ちできるまち

子育てに関連する事業の中でも、特に産前後に関連する事業については、目標値の達成／未達成、数値の上昇／低下をどう評価するかは判断が分かれる。特に、必要な者に対して適切に事業を施すことができたかが、目標に対する評価において重要と考えるため、実績に示された数値は、相談等の支援が必要な方々の数値であると理解している。

また、ひとり親家庭等福祉手当支給事業や逗子市こども家庭センターの事業の要保護児童実数やこども相談人数が前年度よりも増加していることは、支援が必要な方々に適切に支援が届いた結果だと考えられ評価できるが、これらも含め、どのような支援が必要なのか、市民の潜在的ニーズについても継続的に検討するよう心掛けていただきたい。

昨年度同様、逗子のまちや市民の実情を踏まえながら、各事業がそれぞれの経験と実績を上手に生かし、創意工夫して取り組まれた様子が窺える。よりよいまちづくりをしていこうという意識をもって努力を継続されていることに対し評価する。

1. 子どもも大人も共につながり成長していく生涯学習のまち

【学習機会の提供による社会教育の推進】

“市民の自主的な学びを支援”という取り組みの方向通り、講座内容を工夫されていることが窺える。自己評価として、評価の低かった講座に対する内容が記されているが、今後の改善に具体的に生かせるような分析だと考えられる。外部有識者の意見にもあるように、受講したこととその後の活動との関連性がわかると、市民の自主的な学びのよりよい支援にさらにつながるのではないかと考えられる。開催方法については、コロナ以降、オンラインでの開催も増えてきたが、講座の内容、参加対象に相応しい開催方法を丁寧に考慮して決定していただきたいと願う。図書館運営については、毎年工夫されていることが窺える。今回は、子どもの読書活動の推進において参加者数増加につながったようであるが、担当者のささやかなひらめきと工夫が素晴らしい。外部有識者の意見を参考にし、今後の取り組みに期待したい。

2. 文化を新たに創造するまち

【文化芸術活動の推進（継承と創出）】

「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤を目指し、今年度も文化芸術活動の推進を、3つに分けて具体的に取り組まれた。

逗子アートフェスティバルの充実においては、地域の学生と連携を図った取り組みにより、新たな逗子の魅力発信につながったことは評価できる。さらに、企画運営側の交流も広がりつつあるようで、今後の文化芸術活動推進に期待が持てる。

文化芸術活動の振興に係る事業の推進においては、昨年度同様、高齢化による会員数の減少が課題の一つのようであるが、課題改善に向けた取り組みを継続していただき、少しでも改善につながることを期待する。

子どもを対象とした文化活動の振興に係る事業の推進（アウトリーチ活動等）においては、学校教育との連携や近隣の高等学校の参

加、交流センターとの共催等、事業実施における連携が見られた。事業実施における連携は、子どものさまざまな可能性を広げることにもつながる可能性を秘めていることから、内容の充実を図りながら引き続き取り組んでいただきたい。

3つの取り組み共に、外部有識者の意見も取り入れながら今後も「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤を目指し、継続した取り組みに期待をしたい。

3. スポーツを楽しむまち

【スポーツの推進】

“いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ、健康づくりができるまち”を目指し、スポーツの推進のため、今年度も5つの取り組みを工夫し実施された。

スポーツ活動に係る事業の推進では、新たにスポーツに取り組もうとする人等に向けた情報発信を行ったようであるが、スポーツが始まればやすくなるきっかけになったと期待するが現実はどうであったのだろうか。今後も地域の実情を把握し“いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ、健康づくりができるまち”実現に向け、障がい者等も気軽に参加できる推進をしていただきたい。

総合型地域スポーツクラブの普及・啓発においては、うみかぜクラブの会員登録者数がやや増加したことであるが、増加の原因は、人気メニューの開催を増やしたことなのか、情報発信の影響なのか、分析できると、会員増に向けた対策が立てやすいのではないだろうか？

逗子市スポーツの祭典の開催では今年度も様々な方が参加することを考え、多くの企画を実施し、スポーツ開始のきっかけづくりにもつながっていることは評価できる。連携企画では、未病関連の企画が好評であったとのこと、引き続き、参加者のニーズに合った企画を催していただきたい。

マリンスポーツ等、海でのレジャービークは、逗子の特性を生かした魅力あるスポーツの一つだと考えられる。気候の変動・災害への備え等にも十分配慮しながら継続していただきたい。

子どもを対象としたスポーツ活動に係る事業の推進においては、ジュニアスポーツ教室の実施やスポーツ団体一覧の作成等を通して、児童のスポーツ推進に努めたことが窺える。さらに、乳幼児とその保

護者向けプログラムを実施し、多くの子どもと子育て世代の方々が気軽に体を動かす機会となったことは気軽にスポーツ・健康づくりができる環境づくりの一つとも考えられる。子育て世代の大人とその子どもを対象とすることは、幼いころからスポーツに親しめる良い取り組みと考えられる。

すべての取り組みにおいて、外部有識者の意見も参考にし、継続して取り組んでいただきたい。

4. 学校教育の充実したまち

「豊かな人間性」・「確かな学力」・「健康な心身」を目標に、「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる逗子の子ども」の育成を、取り組みの方向性とし、4つの具体的施策に取り組んだ。

【教員の指導力及び教育課題への対応力向上】

いじめ防止基本方針の見直しが、教員の意識向上につながったことは、子どもの幸せにつながることだと考えられる。不登校については、どこにもつながっていない子どもが存在することだが、まず、存在の把握ができていることが次の対応につながる大切な部分であり、今後、早急に対応策が見いだせることを願っている。教員指導巡回チームの派遣を昨年同様行っていることは、教員の指導力向上に向けた良い取り組みと考えられる。昨年度もコメントしたが、学童期の子どもにとり、教員との出会いは、時には子どもの人生に影響する。学習意欲、登校意欲、物事の考え方、将来への希望等々、どのような教員と出会うかにより、学びの質・内容も異なるだろう。質の高い教員となるトレーニングを積むことは、子どもの人生をより豊かにし、より充実した学校生活・授業につながっていくと期待できる。対応力向上に向けた意義ある取り組みを行っていただきたい。外部有識者の意見も参考にしながら継続した取り組みに期待する。

【子どもの発達段階に応じた継続的な支援】

SNSを開設し、療育支援に関する情報発信を始めたことは、相談・療育内容充実につながると考えられる。今後も、効果的な情報発信をしていただきたい。園と連携を図り、未就学児の保護者へ、就学について話をする機会を設けることは、保護者の子どもが就学することへの不安を軽減することにつながると考えられ、良い取り組みだと考えられる。引き続き保護者や子どもの状況に相応しい取り組みに期待したい。「今後の取り組みの方向性」を拝見すると、「支援シート」が重要な役目を果たしていることが窺える。重要な役目を果たす

のであるならば、「支援シート」が子どもの発達・療育・支援に意義ある内容であるものであるのかを再度確認していただきたい。

【ICTを活用した授業と情報教育の推進】

ICTの活用が定着したことが窺える。今後は、効果的な活用を検討しつつ活用していくことが期待できる。SNSに係るトラブルへの対応においては、子どもへの研修と同時に、大人が常に意識をしていることが、トラブルの早期発見・対応につながると考えられる。あきらめず、引き続き効果的な研修に取り組んでほしい。

【地域教育力の効果的な活用と幼・保・小・中の相互理解の促進】

コミュニティースクールが導入されたことは、今後の、地域全体で学校教育を支援する体制づくりにつながる取り組みだと考えられる。東部・中部での実現にも期待をしたい。学校支援地域本部事業では、支援者の高齢化が課題となっているようだ。今後継続していくのであるならば、具体的な対策を考えていくことも必要かと思われる。

5. ふるさとの遺産をまもりつないでいくまち

【文化財保護の推進】

この度も文化財を1件指定したこと、史跡の保存整備等が終了したことは評価できる。今後も、新たな収容展示施設の確保、効果的な公開方法を模索し、より多くの市民に公開できるようになり、“ふるさとの遺産をともにまもり、つないでいくまち”の実現に近づいていただきたい。

6. 誰もが心豊かに子育て・子育ちできるまち

“地域と共に子育て・子育ちできるまちづくり”をめざし、4つの具体的な施策に継続して取り組まれていることが窺える。

【妊娠前からの子育ての相談・支援の充実】

妊娠期からの産後に至るまでの継続したサポートは、子育てを行う者にとって心強い存在だと考えられる。引き続き、一人一人の状況にふさわしい相談・支援を行っていただきたい。また、他部署・他機関との連携を是非強化し、安心して子育てができるまちづくりを目指してほしい。

【子育てを支える取り組みの推進】

16の取り組みを行い多方面から子ども・子育てを支えていることが窺える。主な課題として、ファミリーサポートセンターの登録会

員数増加を挙げているが、課題に対する自己評価では、今後の取り組みにつながるような課題に分析が出来ていると思われる。有識者の意見も鑑みながら改善に努めていただきたい。

【幅広い保育ニーズの対応できる体制づくり】

少子化の加速、保育士・人材不足をどのように取り組んでいくのか、今後も課題となると考えられるが、状況とニーズを踏まえ、その時々に応じた対応を引き続き行っていただきたい。外部有識者の意見も是非参考にしていただきたい。

【子どもたちの居場所づくりの推進】

“居場所づくりの推進”においては、【子育てを支える取り組みの推進】⑯居場所づくりへの支援と連携して取り組むことは可能なのだろうか？どちらの取り組みも、子どもにとっては必要な居場所と考えられる。可能であるならば、連携を試みて頂きたい。そして、一人ひとりの子どもが心休まる場が増えることを期待する。

○まとめ

いずれの取り組みも、前年度の課題等を反映し、より良く取り組もうとしている様子が窺えた。取り組みによっては、評価シートから、取り組みの状況がイメージできるものもあった。

今年度は、「連携」がキーワードだったように感じる。多くの取り組みの中で、連携をしながら施策を推進していることがわかった。連携することで、横のつながりが増え、逗子ならではの良さがさらに引き出されるのだと考えられる。一人でも多くの方が逗子に住みたいと思える施策への取り組みに期待する。

逗子市教育委員会 教育部教育総務課
〒249-8686
神奈川県逗子市逗子 5 - 2 -16
TEL046-873-1111
FAX046-872-3115
E-mail kyouiku@city.zushi.lg.jp